

## 市民アンケート調査結果

本計画策定にあたっての基礎資料とするため、市民を対象にアンケートを実施しました。

対象	令和7年(2025年)4月1日現在、本市に住民票のある18歳以上の市民
調査数	3,000人(無作為抽出)
調査方法	郵送による配付、郵送または Web 回答による回収
回収数	924人(回収率 30.8%)
調査期間	令和7年(2025年)5月26日～7月31日

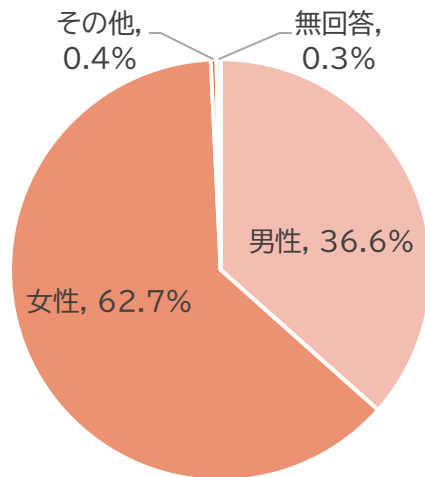
### <注意事項>

- 回答結果は、有効サンプル数に対して、それぞれの割合を示しています。小数点第2位を四捨五入しているため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において、「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- グラフ及び表のN数は有効サンプル数(集計対象者総数)、(SA)は単数回答の設問、(MA)は複数回答の設問を表しています。

問 1: あなたの性別を教えてください。 【SA】 N=924

- \*\*回答数と率\*\*:

- 男性: 338 (36.6%) - 女性: 579 (62.7%) - その他: 4 (0.4%) - 無回答: 3 (0.3%)

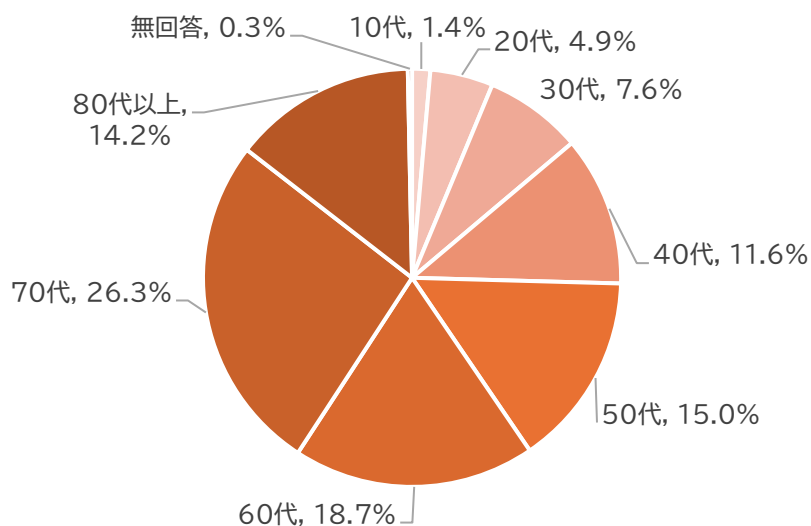


○ 女性の回答者が男性よりも多く、62.7%を占めている。

問 2: あなたの年齢はいくつですか? 【SA】 N=924

- \*\*回答数と率\*\*:

- 10代: 13 (1.4%) - 20代: 45 (4.9%) - 30代: 70 (7.6%) - 40代: 107 (11.6%)  
- 50代: 139 (15.0%) - 60代: 173 (18.7%) - 70代: 243 (26.3%)  
- 80代以上: 131 (14.2%) - 無回答: 3 (0.3%)

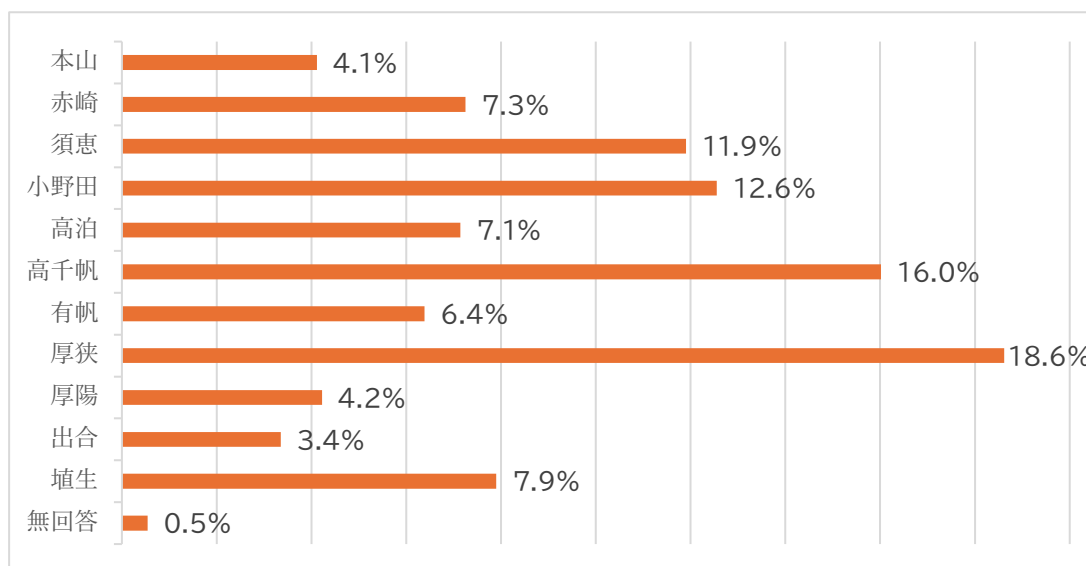


○ 60代と70代の回答者が多い。

問 3: あなたのお住まいの校区はどちらですか? 【S A】 N=924

- \*\*回答数と率\*\*:

- 本山: 38 (4.1%) - 赤崎: 67 (7.3%) - 須恵: 110 (11.9%) - 小野田: 116 (12.6%)
- 高泊: 66 (7.1%) - 高千帆: 148 (16.0%) - 有帆: 59 (6.4%) - 厚狭: 172 (18.6%)
- 厚陽: 39 (4.2%) - 出合: 31 (3.4%) - 埴生: 73 (7.9%) - 無回答: 5 (0.5%)

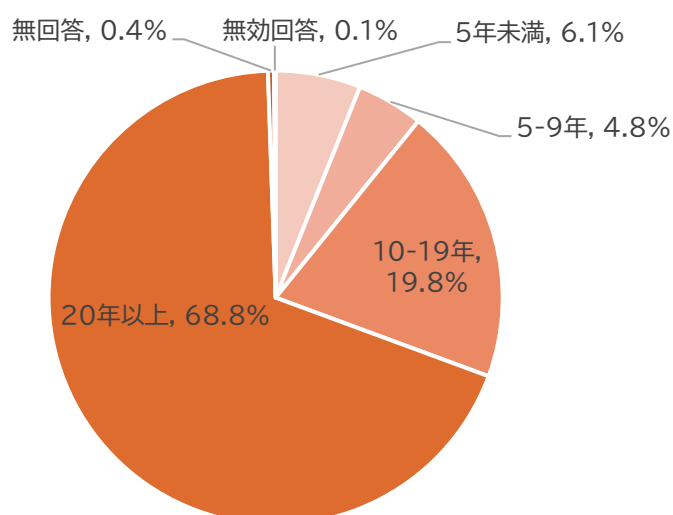


○ 厚狭が18.6%で最も高い。次いで高千帆が16.0%、小野田が12.6%となっている。

問 4: あなたは山陽小野田市に住んで何年になりますか? 【S A】 N=924

- \*\*回答数と率\*\*:

- 5年未満: 56 (6.1%) - 5-9年: 44 (4.8%) - 10-19年: 183 (19.8%)
- 20年以上: 636 (68.8%) - 無回答: 4 (0.4%) - 無効回答: 1 (0.1%)

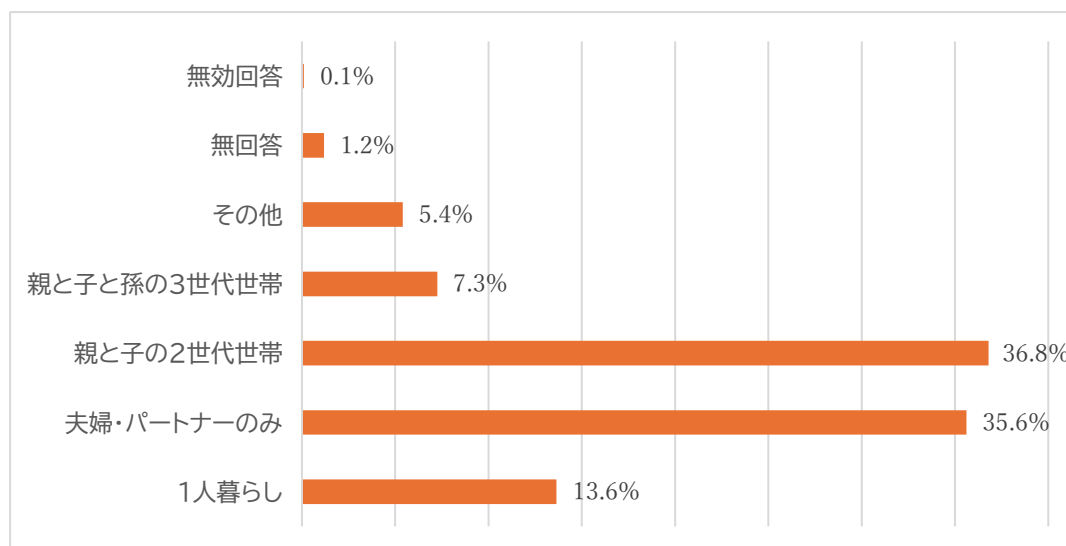


○ 20年以上が68.8%で長期間住んでいる回答者が多い。

問 5: あなたの家族構成は、次のどれですか？ 【SA】 N=924

- \*\*回答数と率\*\*:

- 一人暮らし: 126 (13.6%) - 夫婦・パートナーのみ: 329 (35.6%)
- 親と子の2世代世帯: 340 (36.8%) - 親と子と孫の3世代世帯: 67 (7.3%)
- その他: 50 (5.4%) - 無回答: 11 (1.2%) - 無効回答: 1 (0.1%)



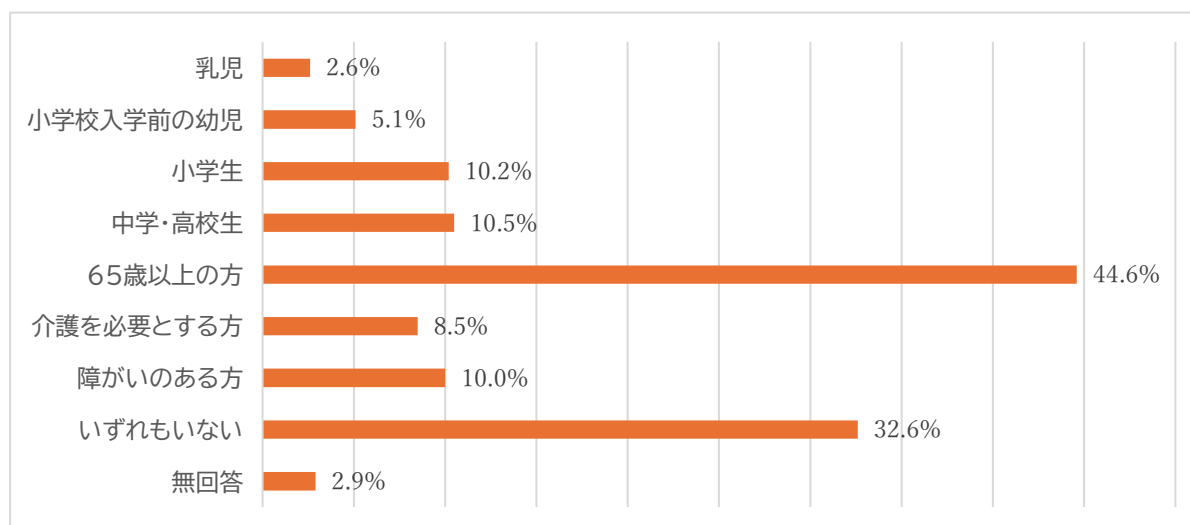
○ 夫婦・パートナーのみ (35.6%) 及び親と子の2世代世帯 (36.8%) が多い。

問 6: 現在、あなた自身、または同居している家族の中に次のような方はいますか？

- \*\*回答数と率\*\*:

【MA】 N=924

- 乳児: 24 (2.60%) - 小学校入学前の幼児: 47 (5.1%) - 小学生: 94 (10.2%)
- 中学・高校生: 97 (10.5%) - 65歳以上の方: 412 (44.6%)
- 介護を必要とする方: 79 (8.5%) - 障がいのある方: 92 (10.0%)
- いずれもない: 301 (32.6%) - 無回答: 27 (2.9%)



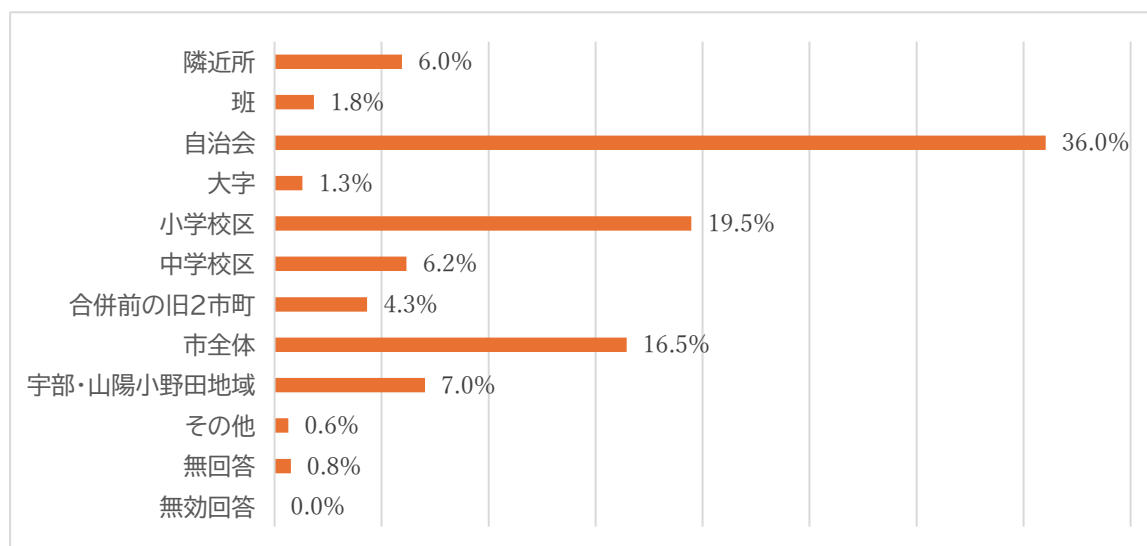
○ 65歳以上の方がいるケースが最も多い。

問 7: あなたにとって「地域」とは、こういった範囲のことだと思いますか？

\*\*回答数と率\*\*:

【SA】N=924

- 隣近所: 55 (6.0%) - 班: 17 (1.8%) - 自治会: 333 (36.0%) - 大字: 12 (1.3%)
- 小学校区: 180 (19.5%) - 中学校区: 57 (6.2%) - 合併前の旧2市町: 40 (4.3%)
- 市全体: 152 (16.5%) - 宇部・山陽小野田地域: 65 (7.0%)
- その他: 6 (0.6%) - 無回答: 7 (0.8%)

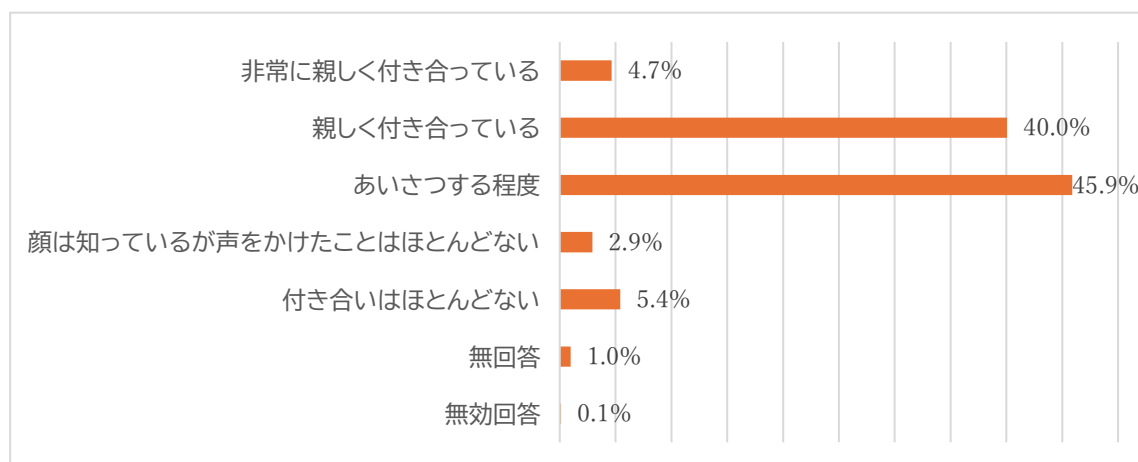


○ 自治会を地域と考える人が多い。

問 8: 近所の人とどの程度のお付き合いをしていますか？ 【SA】N=924

- \*\*回答数と率\*\*:

- あいさつする程度: 424 (45.9%) - 親しく付き合っている: 370 (40.0%)
- 非常に親しく付き合っている: 43 (4.7%)
- 顔は知っているが声をかけたことはほとんどない: 27 (2.9%)
- 付き合いはほとんどない: 50 (5.4%) - 無回答: 9 (1.0%)

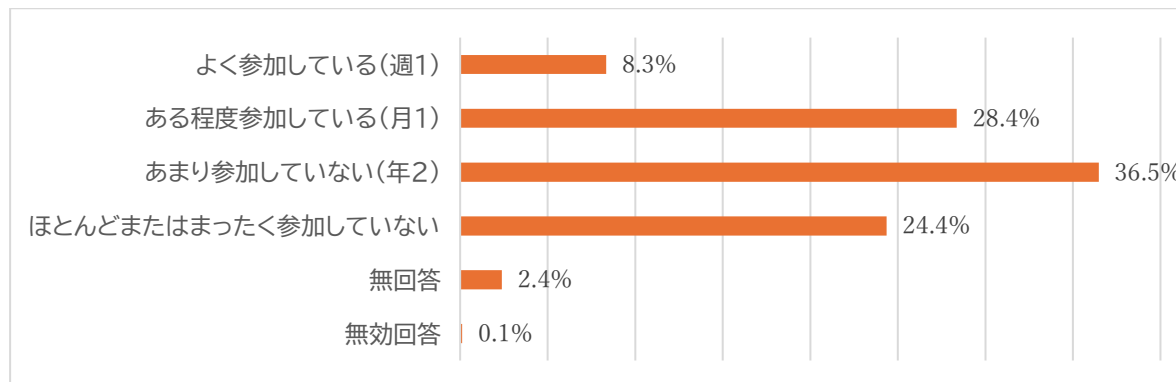


○ あいさつ程度の付き合いが最も多い。

問 9: 自治会の活動にどのくらい参加していますか？ 【SA】 N=924

- \*\*回答数と率\*\*:

- よく参加している（週1回程度）：77（8.3%）
- ある程度参加している（月1回程度）：262（28.4%）
- あまり参加していない（年2回程度）：337（36.5%）
- ほとんどまたはまったく参加していない：225（24.4%） - 無回答：22（2.4%）

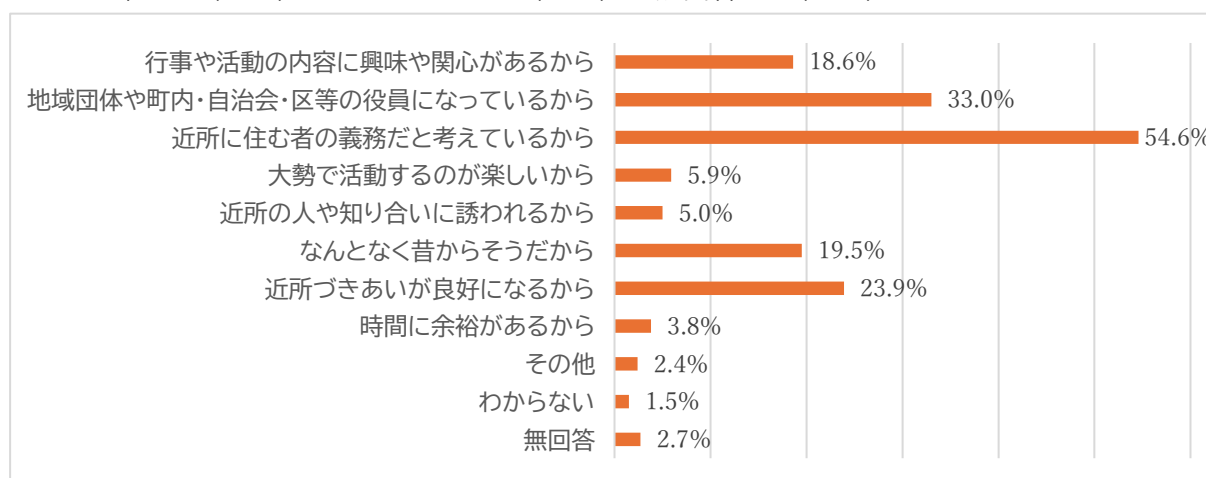


○ 自治会にはあまり参加していない人が多い。

問 10: 問 9 で「1.よく参加している」「2.ある程度参加している」と答えた方にお尋ねします。自治会の活動に参加している理由は何ですか？ 【MA】 N=339

\*\*回答数と率\*\*:

- 行事や活動の内容に興味や関心があるから：63（18.6%）
- 地域団体や町内・自治会・区等の役員になっているから：112（33.0%）
- 近所に住む者の義務だと考えているから：185（54.6%）
- 大勢で活動するのが楽しいから：20（5.9%）
- 近所の人や知り合いに誘われるから：17（5.0%）
- なんとなく昔からそうだから：66（19.5%）
- 近所づきあいが良好になるから：81（23.9%） - 時間に余裕があるから：13（3.8%）
- その他：8（2.4%） - わからない：5（1.5%） - 無回答：9（2.7%）



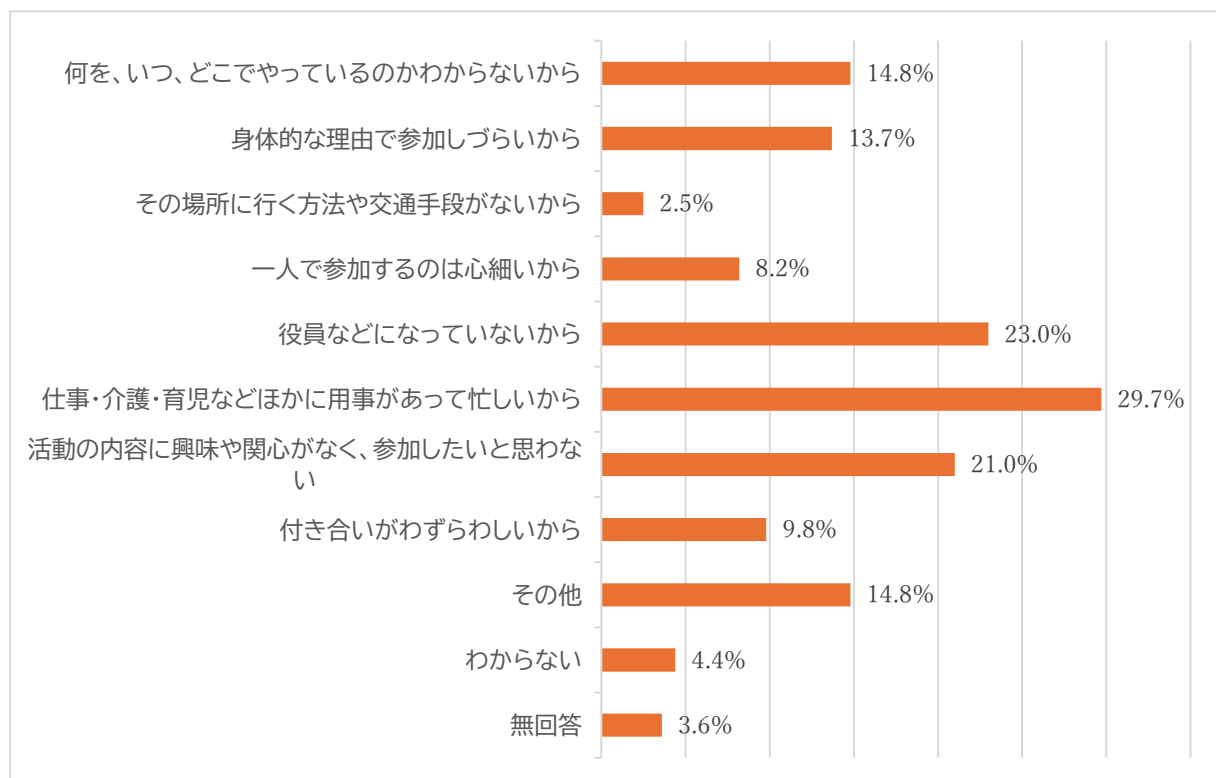
○ 参加理由として、義務感や地域役員になっていることが多い。

問 11: 問 9 で「3. あまり参加していない」「4. ほとんどまたはまったく参加していない」と答えた方にお尋ねします。自治会の活動に参加していない理由は何ですか？

- \*\*回答数と率\*\*:

【MA】 N=562

- 何を、いつ、どこでやっているのかわからないから: 83 (14.8%)
- 身体的な理由で参加しづらいから: 77 (13.7%)
- その場所に行く方法や交通手段がないから: 14 (2.5%)
- 一人で参加するのは心細いから: 46 (8.19%) - 役員などになっていないから: 129 (23.0%)
- 仕事・介護・育児などほかに用事があって忙しいから: 167 (29.7%)
- 活動の内容に興味や関心がなく、参加したいと思わない: 118 (21.0%)
- 付き合いがわずらわしいから: 55 (9.8%) - その他: 83 (14.8%)
- わからない: 25 (4.4%) - 無回答: 20 (3.6%)



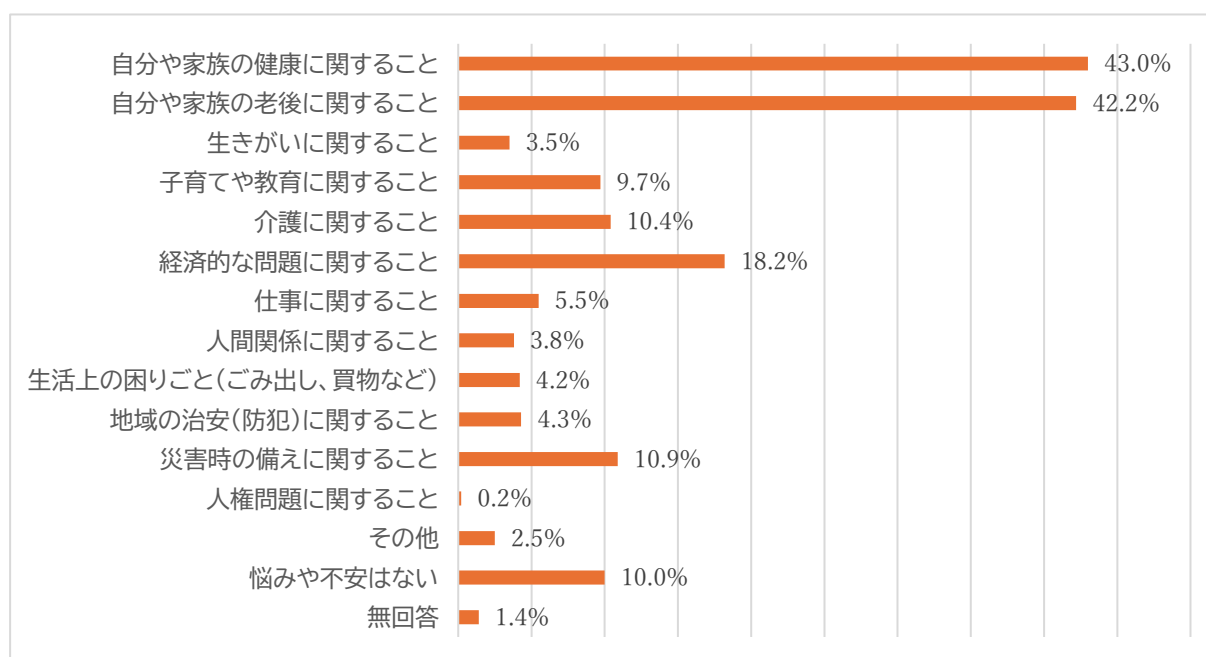
○ 「忙しい」「興味や関心がない」「役員ではない」が主な理由である。

問 12: あなたは、日々の生活においてどのような悩みや不安を感じていますか？

- \*\*回答数と率\*\*:

【MA】 N=924

- 自分や家族の健康に関すること: 397 (43.0%)
- 自分や家族の老後に関すること: 390 (42.2%)
- 生きがいに関すること: 32 (3.5%)
- 子育てや教育に関すること: 90 (9.7%)
- 介護に関すること: 96 (10.4%)
- 経済的な問題に関すること: 168 (18.2%)
- 仕事に関すること: 51 (5.5%)
- 人間関係に関すること: 35 (3.8%)
- 生活上の困りごと(ごみ出し、買物など): 39 (4.2%)
- 地域の治安(防犯)に関すること: 40 (4.3%)
- 災害時の備えに関すること: 101 (10.9%)
- 人権問題に関すること: 2 (0.22%)
- その他: 23 (2.5%)
- 悩みや不安はない: 92 (10.0%)



○ 健康や老後に関する悩みが多い。

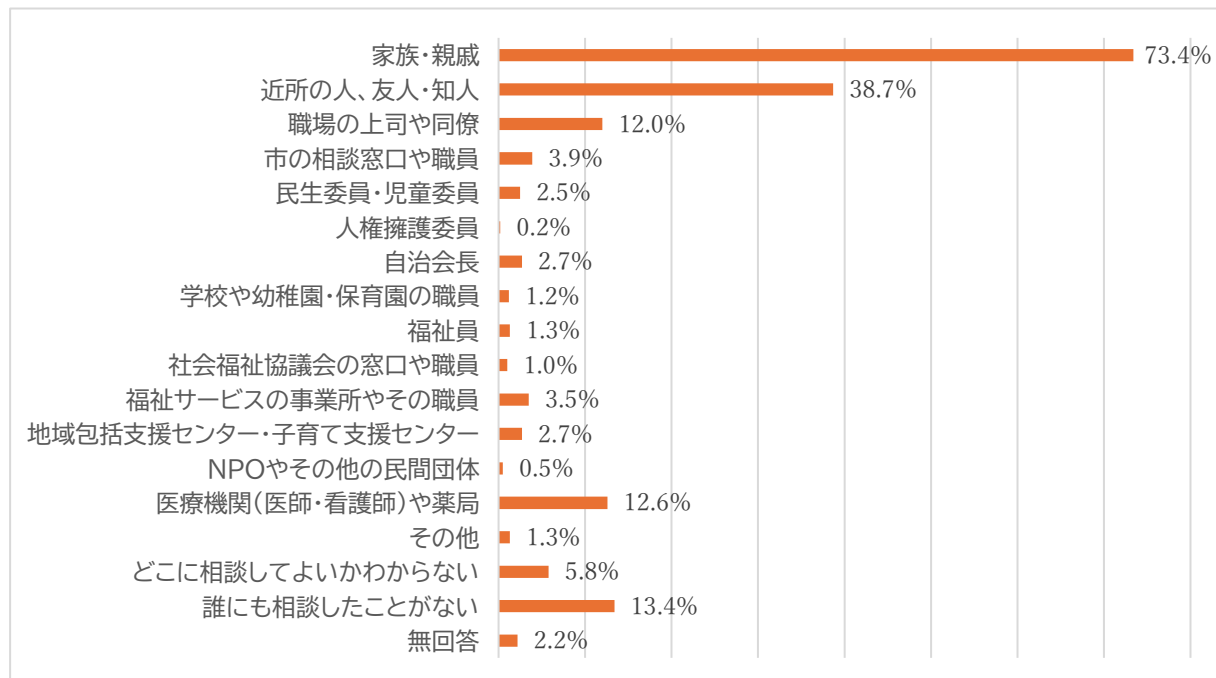


問 13: 悩みや不安について、誰に、またはどこに相談していますか？

- \*\*回答数と率\*\*:

【MA】 N=924

- 家族・親戚: 678 (73.4%)
- 近所の人、友人・知人: 358 (38.7%)
- 職場の上司や同僚: 111 (12.0%)
- 市の相談窓口や職員: 36 (3.9%)
- 民生委員・児童委員: 23 (2.5%)
- 人権擁護委員: 2 (0.2%)
- 自治会長: 25 (2.7%)
- 学校や幼稚園・保育園の職員: 11 (1.2%)
- 福祉員: 12 (1.3%)
- 社会福祉協議会の窓口や職員: 9 (1.0%)
- 福祉サービスの事業所やその職員: 32 (3.5%)
- 地域包括支援センター・子育て支援センター: 25 (2.7%)
- NPO やその他の民間団体: 5 (0.5%)
- 医療機関（医師・看護師）や薬局: 116 (12.6%)
- その他: 12 (1.3%)
- どこに相談してよいかわからない: 54 (5.8%)
- 誰にも相談したことがない: 124 (13.4%)

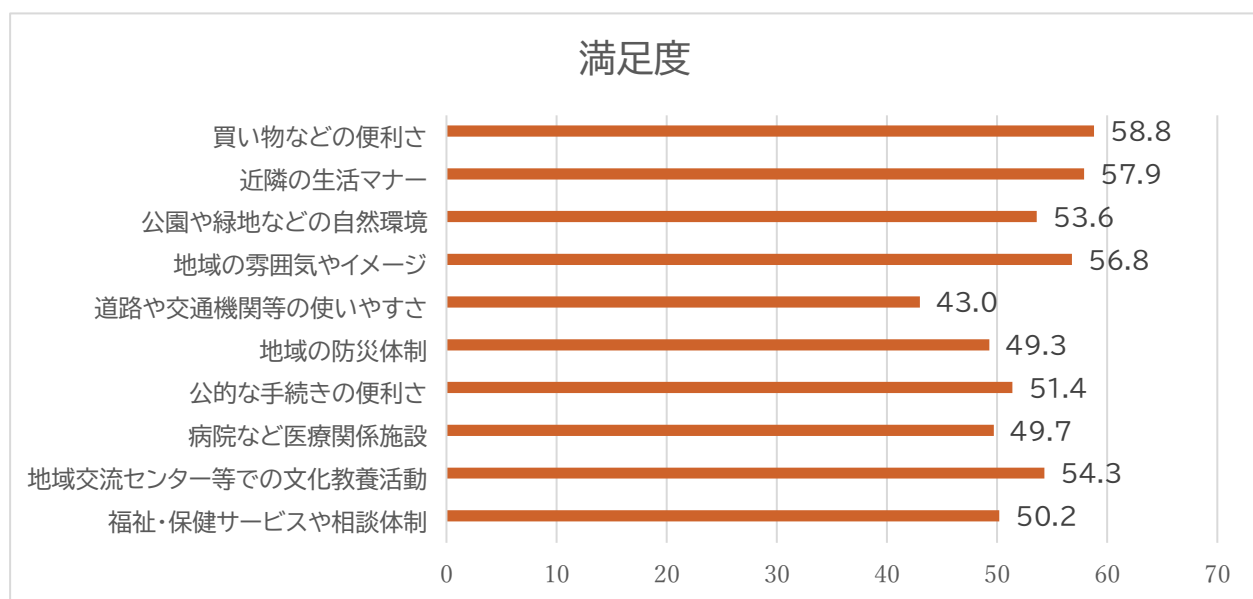


○ 家族・親戚に相談する人が多い。

問 14: あなたのお住まいの地域における暮らしの満足度についてお聞きます。  
以下に示す内容に満足していますか？ 【S A】 N=924

【満足度】 満足:100、まあまあ満足:75、普通:50、やや不満:25、不満:0  
と点数換算し、合計点数を回答数で割った値

項目	満足	まあまあ満足	普通	やや不満	不満	わからない	無回答	無効回答	合計点数	有効回答数	満足度
買い物などの便利さ	241	215	212	106	136	6	8	0	53475	910	58.8
近隣の生活マナー	110	215	440	76	41	20	21	1	51025	882	57.9
公園や緑地などの自然環境	103	164	422	108	69	32	25	1	46400	866	53.6
地域の雰囲気やイメージ	85	200	491	67	32	22	27	0	49725	875	56.8
道路や交通機関の使いやすさ	62	172	275	203	170	16	26	0	37925	882	43.0
地域の防災体制	39	93	445	100	46	175	26	0	35625	723	49.3
公的な手続きの便利さ	68	144	471	101	66	48	26	0	43675	850	51.4
病院など医療関係施設	88	186	339	137	118	30	25	1	43125	868	49.7
地域交流センター等での文化教養活動	40	94	379	38	19	326	28	0	30950	570	54.3
福祉・保健サービスや相談体制	23	85	387	64	31	307	27	0	29625	590	50.2

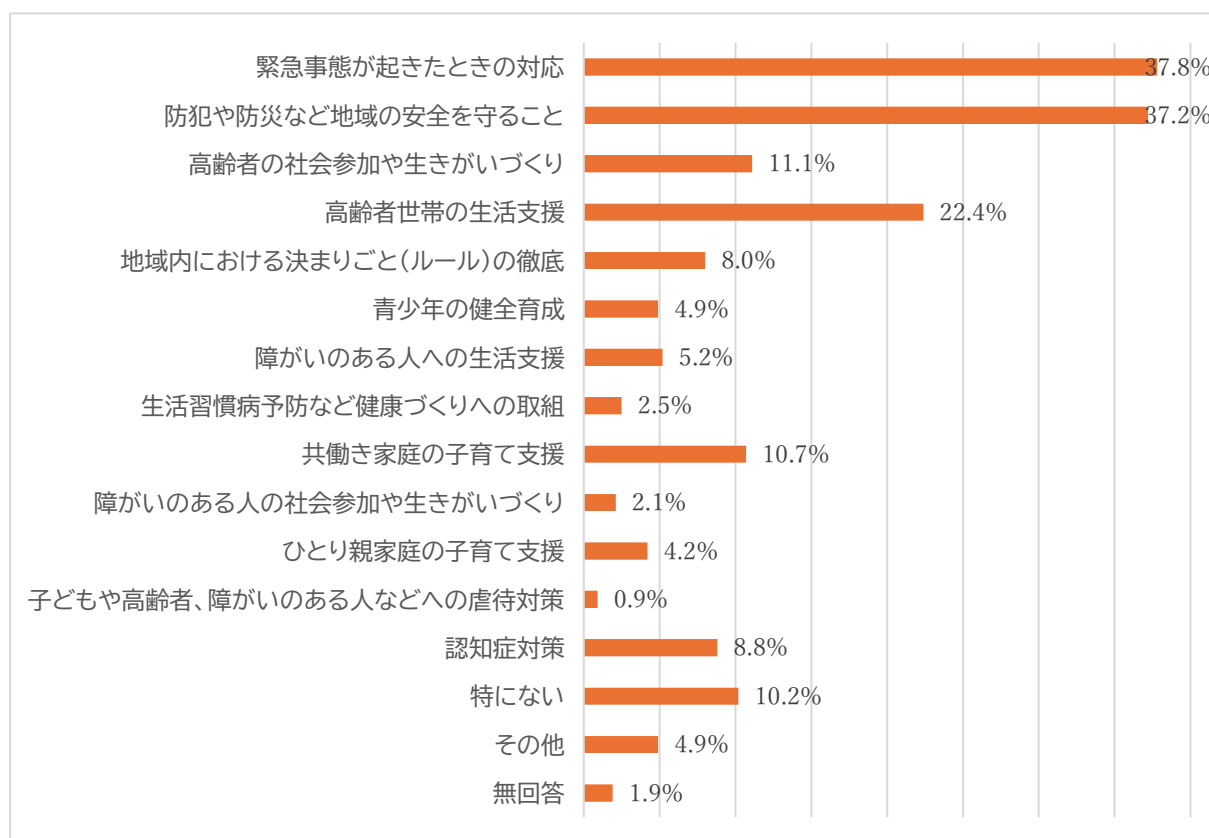


問 15: お住まいの地域で優先して取り組むべき課題は何だと思いますか？

- \*\*回答数と率\*\*:

【MA】 N=924

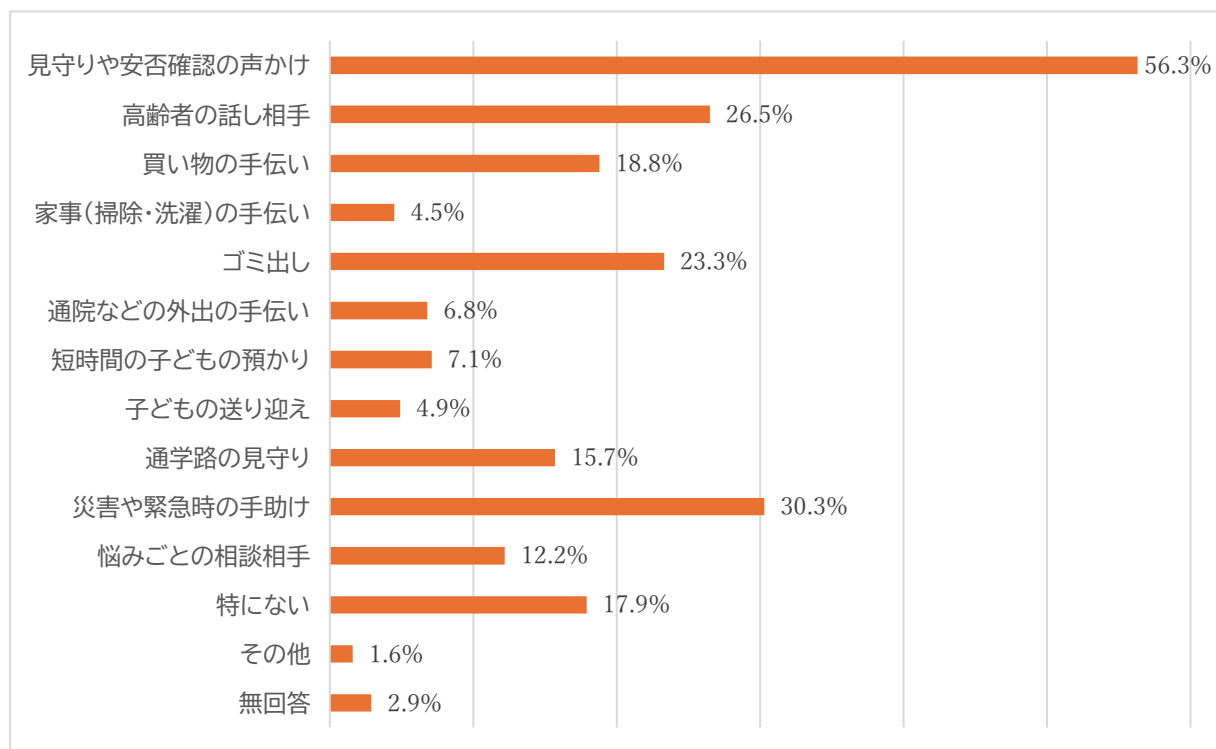
- 緊急事態が起きたときの対応: 349 (37.8%)
- 防犯や防災など地域の安全を守ること: 344 (37.2%)
- 高齢者の社会参加や生きがいづくり: 103 (11.1%) - 高齢者世帯の生活支援: 207 (22.4%) -
- 地域内における決まりごと(ルール)の徹底: 74 (8.0%) - 青少年の健全育成: 45 (4.9%)
- 障がいのある人への生活支援: 48 (5.2%)
- 生活習慣病予防など健康づくりへの取組: 23 (2.5%)
- 共働き家庭の子育て支援: 99 (10.7%)
- 障がいのある人の社会参加や生きがいづくり: 19 (2.1%)
- ひとり親家庭の子育て支援: 39 (4.2%)
- 子どもや高齢者、障がいのある人などへの虐待対策: 8 (0.9%)
- 認知症対策: 81 (8.8%) - 特にない: 94 (10.2%) - その他: 45 (4.9%)



○ 緊急対応、防犯、防災、高齢者支援が重要視されている。

問 16: 隣近所に介護や子育てで困っている家庭があった場合、どのような手助けができますか？ 【MA】 N=924

- 見守りや安否確認の声かけ: 520 (56.3%)
- 高齢者の話し相手: 245 (26.5%)
- 買い物の手伝い: 174 (18.8%)
- 家事(掃除・洗濯)の手伝い: 42 (4.5%)
- ゴミ出し: 215 (23.3%)
- 通院などの外出の手伝い: 63 (6.8%)
- 短時間の子どもの預かり: 66 (7.1%)
- 子どもの送り迎え: 45 (4.9%)
- 通学路の見守り: 145 (15.7%)
- 災害や緊急時の手助け: 280 (30.3%)
- 悩みごとの相談相手: 113 (12.2%)
- 特にない: 165 (17.9%)
- その他: 15 (1.6%)



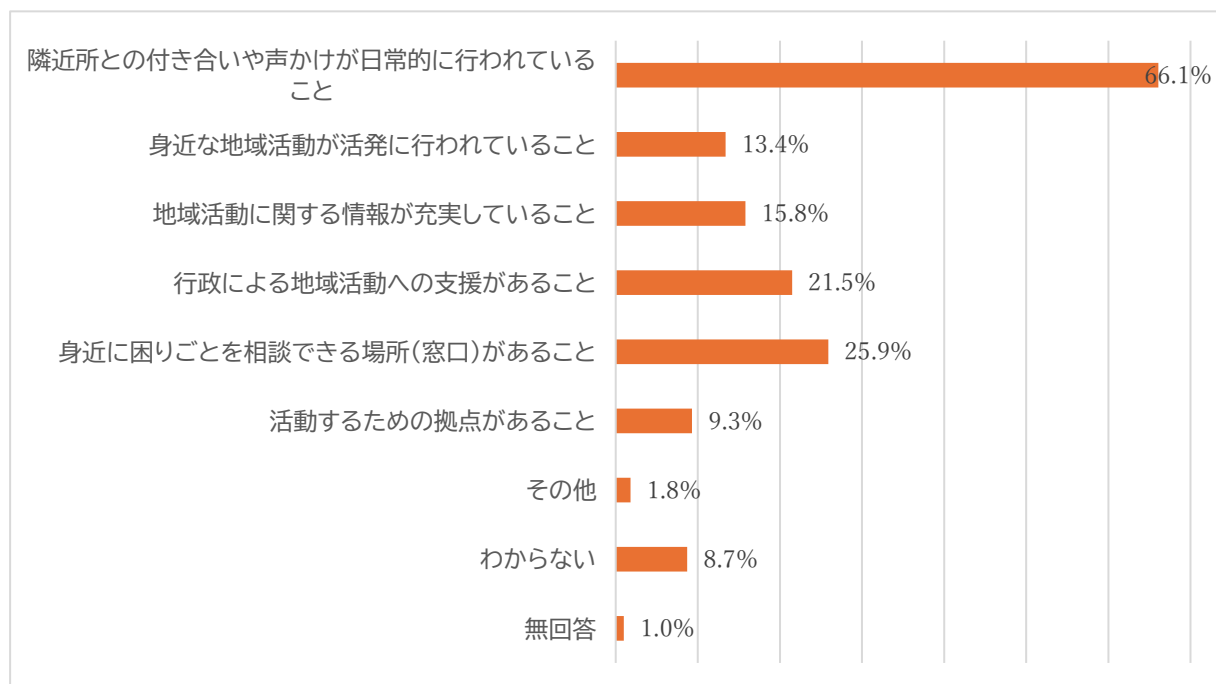
- 見守りや安否確認の声かけが最も多く選ばれ、地域の支え合いが重要視されている。
- 災害や緊急時の手助けも多く選ばれ、緊急事態への対応が関心の高さを示している。

問 17: 住民同士が助け合い、支え合うためには何が必要だと思いますか？

- \*\*回答数と率\*\*:

【MA】 N = 924

- 隣近所との付き合いや声かけが日常的に行われていること: 611 (66.1%)
- 身近な地域活動が活発に行われていること: 124 (13.4%)
- 地域活動に関する情報が充実していること: 146 (15.8%)
- 行政による地域活動への支援があること: 199 (21.5%)
- 身近に困りごとを相談できる場所(窓口)があること: 239 (25.9%)
- 活動するための拠点があること: 86 (9.3%)
- その他: 17 (1.8%) - わからない: 80 (8.7%)
- 無回答: 9 (1.0%)

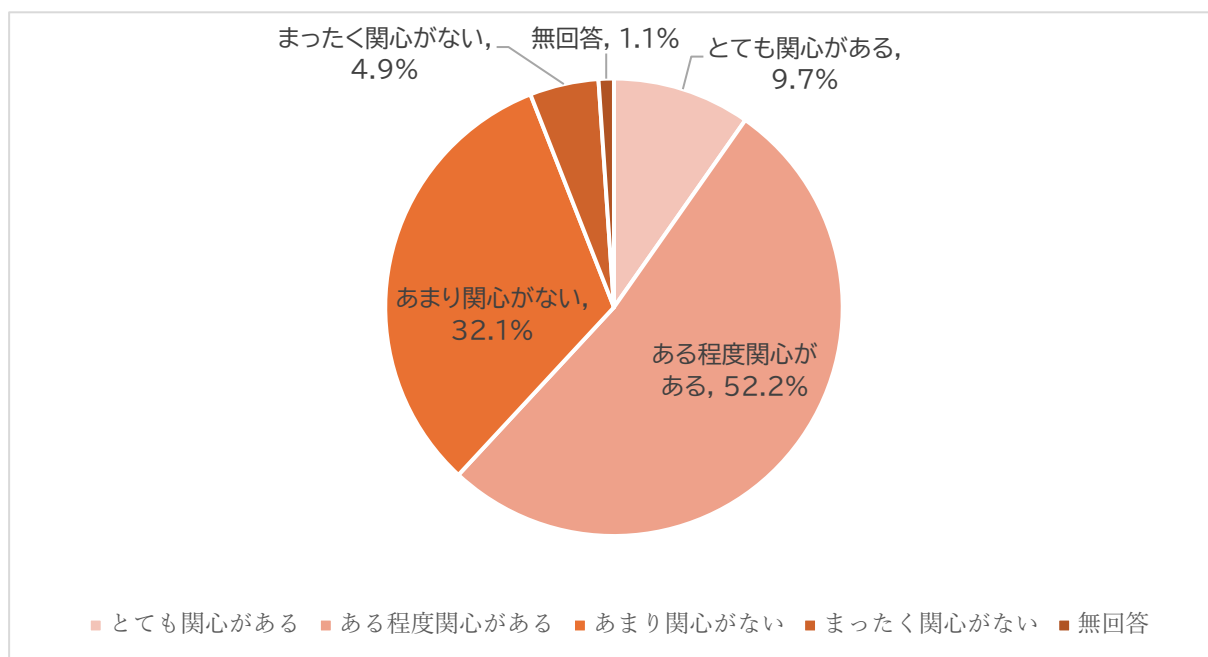


○ 隣近所との付き合いや声かけが日常的であることが最も重要視され、相談窓口が充実していることも強く求められている。

問 18: 福祉への関心はありますか? 【SA】 N=924

- \*\*回答数と率\*\*:

- とても関心がある: 90 (9.7%)
- ある程度関心がある: 482 (52.2%)
- あまり関心がない: 297 (32.1%)
- まったく関心がない: 45 (4.9%)
- 無回答: 10 (1.1%)



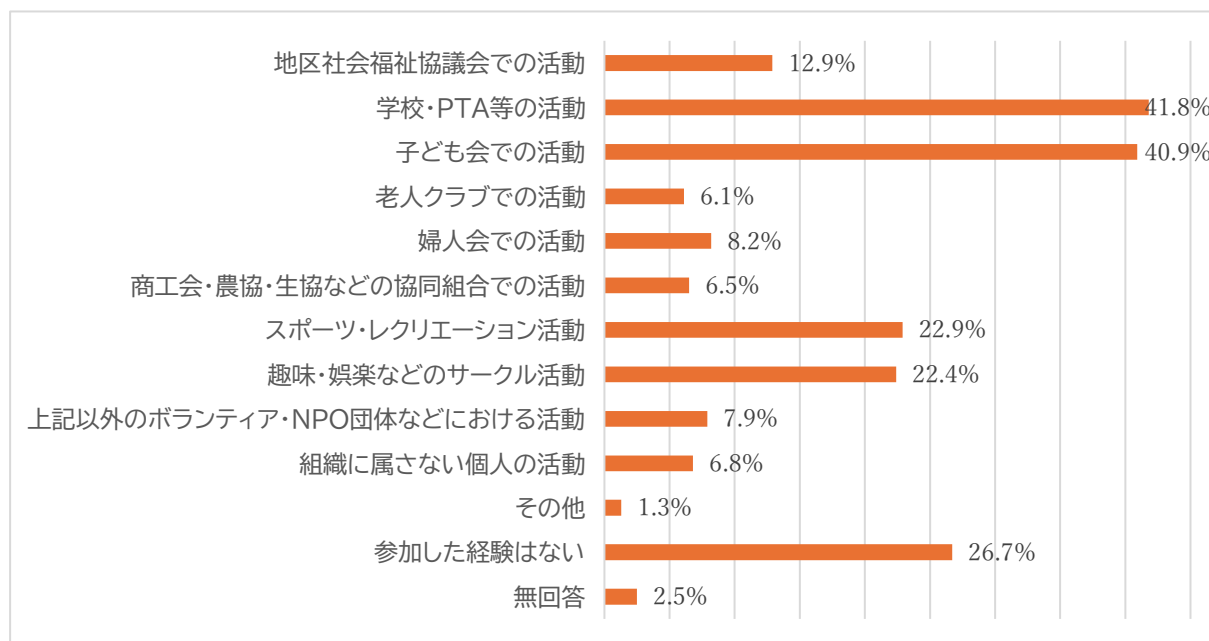
○ 半数以上が何らかの関心を持っている。

問 19: あなたは、自治会活動以外で、今までにどのような地域活動に参加したことがありますか？

【MA】 N=924

- \*\*回答数と率\*\*:

- 地区社会福祉協議会での活動: 119 (12.9%)
- 学校・PTA等の活動: 386 (41.8%)
- 子ども会での活動: 378 (40.9%)
- 老人クラブでの活動: 56 (6.1%)
- 婦人会での活動: 76 (8.2%)
- 商工会・農協・生協などの協同組合での活動: 60 (6.5%)
- スポーツ・レクリエーション活動: 212 (22.9%)
- 趣味・娯楽などのサークル活動: 207 (22.4%)
- 上記以外のボランティア・NPO団体などにおける活動: 73 (7.9%)
- 組織に属さない個人の活動: 63 (6.8%)
- その他: 12 (1.3%)
- 参加した経験はない: 247 (26.7%)

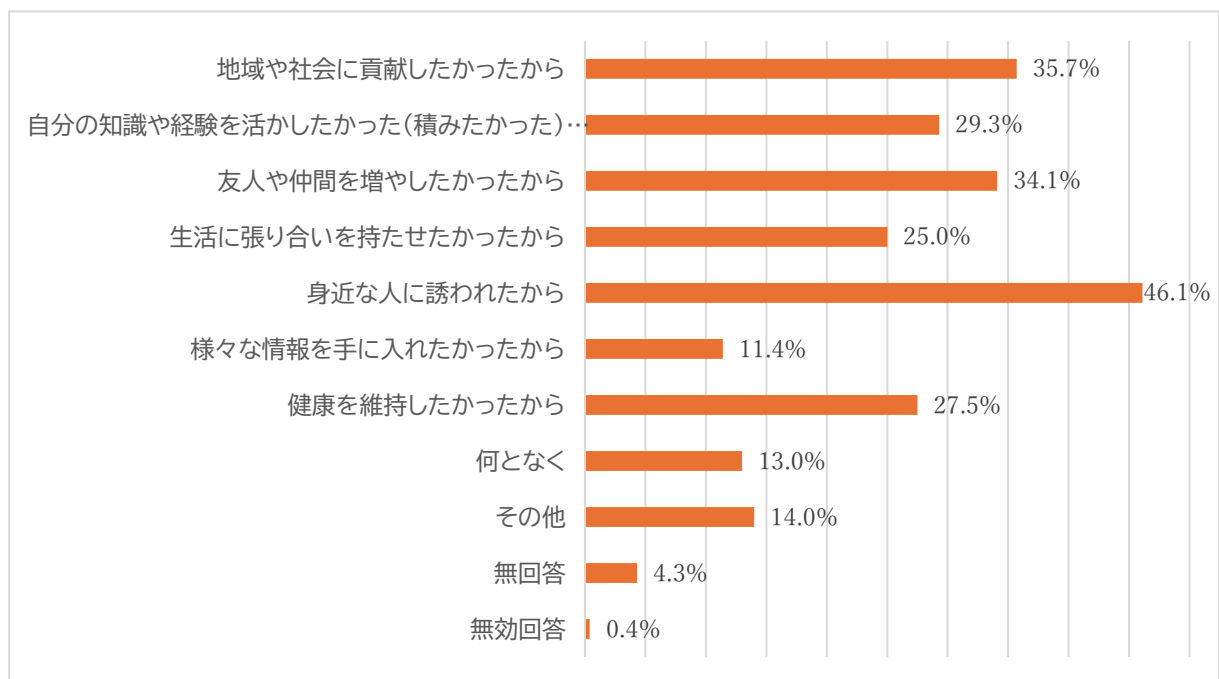


○ 学校や子ども会の活動への参加が多い。

問 20: 問 19 で「1～11」の活動に参加したことがあると答えた方にお尋ねします。問 19 の活動をされた理由は何ですか？ 【MA】 N=516

- \*\*回答数と率\*\*:

- 地域や社会に貢献したかったから: 184 (35.7%)
- 自分の知識や経験を活かしたかった(積みたかった)から: 151 (29.3%)
- 友人や仲間を増やしたかったから: 176 (34.1%)
- 生活に張り合いを持たせたかったから: 129 (25.0%)
- 身近な人に誘われたから: 238 (46.12%)
- 様々な情報を手に入れたかったから: 59 (11.4%)
- 健康を維持したかったから: 142 (27.5%)
- 何となく: 67 (13.0%)
- その他: 72 (14.0%)



○ 身近な人に誘われたからが最も多く、次いで地域や社会に貢献したかったから、友人や仲間を増やしたかったからと続いている。

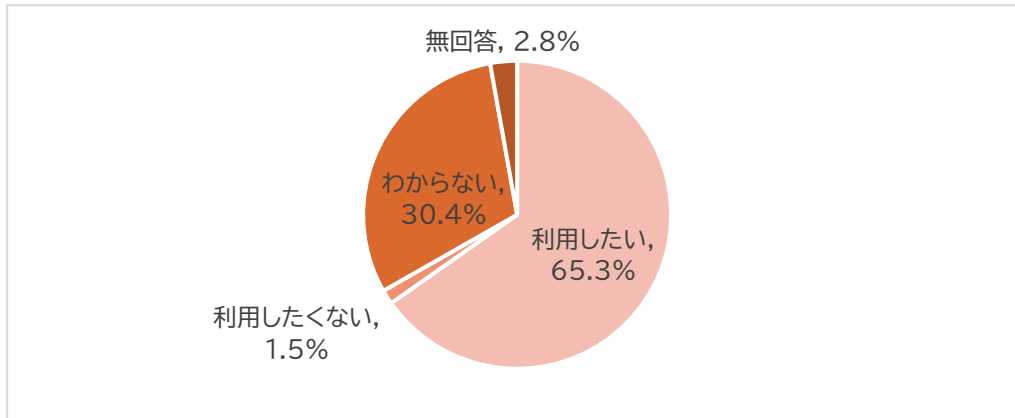


問 21: あなたご自身や家族に福祉サービスが必要になったとき、すぐにサービスを利用しますか？ 【SA】 N=924

福祉サービスが必要になったとき、すぐにサービスを利用しますか？

- \*\*回答数と率\*\*:

- 利用したい: 603 (65.3%) - 利用したくない: 14 (1.5%)
- わからない: 281 (30.4%) - 無回答: 26 (2.8%)

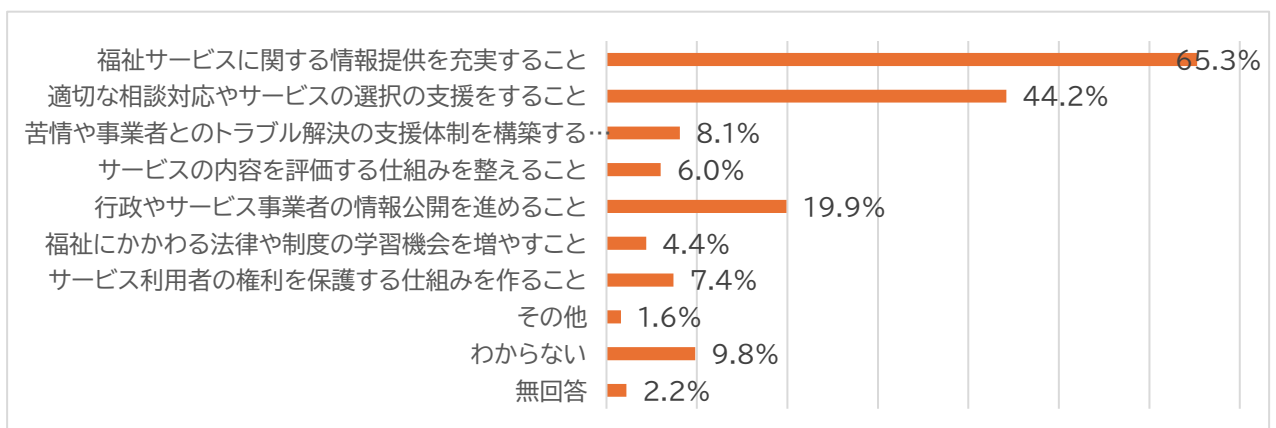


○ 必要になれば利用したい人が多い。

問 22: 利用者が最適なサービスを安心して利用するためには、市では今後どのようなことに取り組む必要があると思いますか？ 【MA】 N=924

- \*\*回答数と率\*\*:

- 福祉サービスに関する情報提供を充実すること: 603 (65.3%)
- 適切な相談対応やサービスの選択の支援をすること: 408 (44.2%)
- 苦情や事業者とのトラブル解決の支援体制を構築すること: 75 (8.1%)
- サービスの内容を評価する仕組みを整えること: 55 (6.0%)
- 行政やサービス事業者の情報公開を進めること: 184 (19.9%)
- 福祉にかかわる法律や制度の学習機会を増やすこと: 41 (4.4%)
- サービス利用者の権利を保護する仕組みを作ること: 68 (7.4%)
- その他: 15 (1.6%) - わからない: 91 (9.8%)

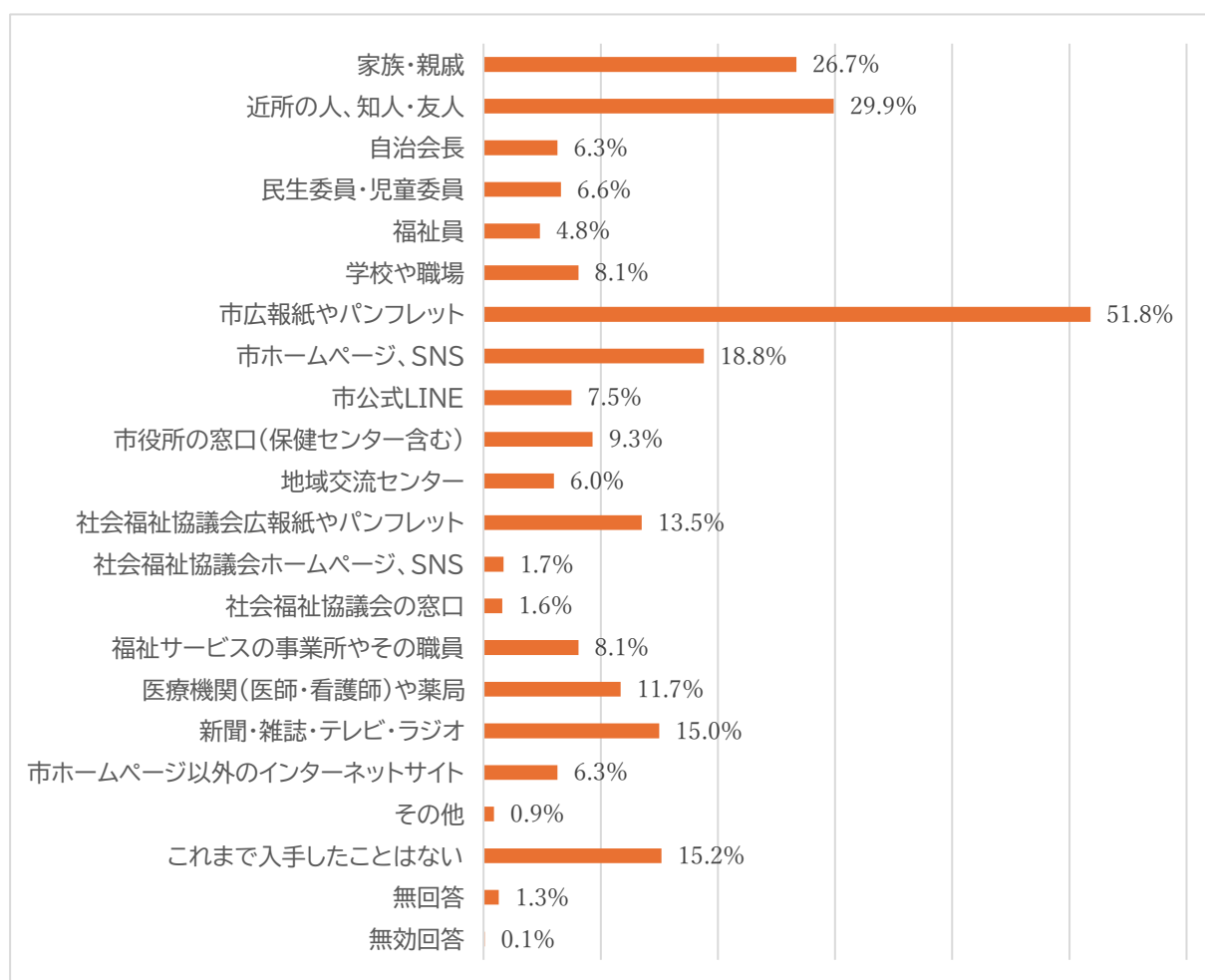


○ 情報提供と相談対応、サービス選択の支援が望まれている。

問 23: 福祉サービスに関する情報はどこから入手していますか？ 【MA】 N=924

- \*\*回答数と率\*\*:

- 家族・親戚: 247 (26.7%) - 近所の人、知人・友人: 276 (29.9%)
- 自治会長: 58 (6.3%) - 民生委員・児童委員: 61 (6.6%) - 福祉員: 44 (4.8%)
- 学校や職場: 75 (8.1%) - 市広報紙やパンフレット: 479 (51.8%)
- 市ホームページ、SNS: 174 (18.8%) - 市公式LINE: 69 (7.5%)
- 市役所の窓口(保健センター含む): 86 (9.3%) - 地域交流センター: 55 (6.0%)
- 社会福祉協議会広報紙やパンフレット: 125 (13.5%)
- 社会福祉協議会ホームページ、SNS: 16 (1.7%) - 社会福祉協議会の窓口: 15 (1.6%)
- 福祉サービスの事業所やその職員: 75 (8.1%)
- 医療機関(医師・看護師)や薬局: 108 (11.7%)
- 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ: 139 (15.1%)
- 市ホームページ以外のインターネットサイト: 58 (6.3%) - その他: 8 (0.9%)
- これまで入手したことはない: 140 (15.2%)

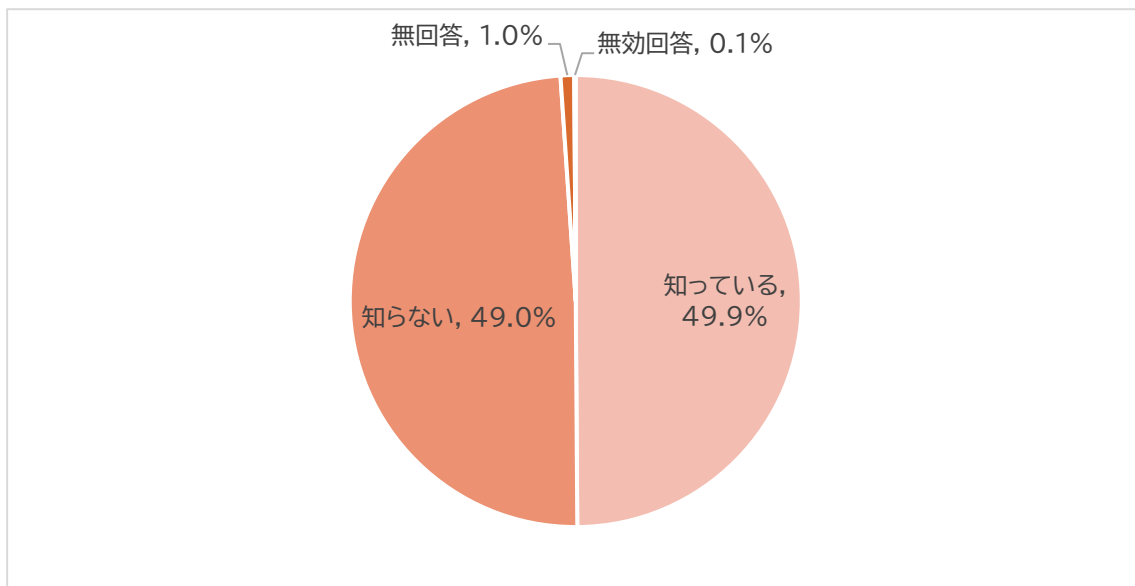


○ 市広報紙やパンフレットが最も多く使われる情報源であり、次いで近所の人や知人・友人を通じた情報取得が多い。

問 24: お住まいの地域の民生委員・児童委員をご存知ですか？ 【SA】 N=924

- \*\*回答数と率\*\*:

- 知っている: 461 (49.9%) - 知らない: 453 (49.0%) - 無回答: 9 (1.0%)



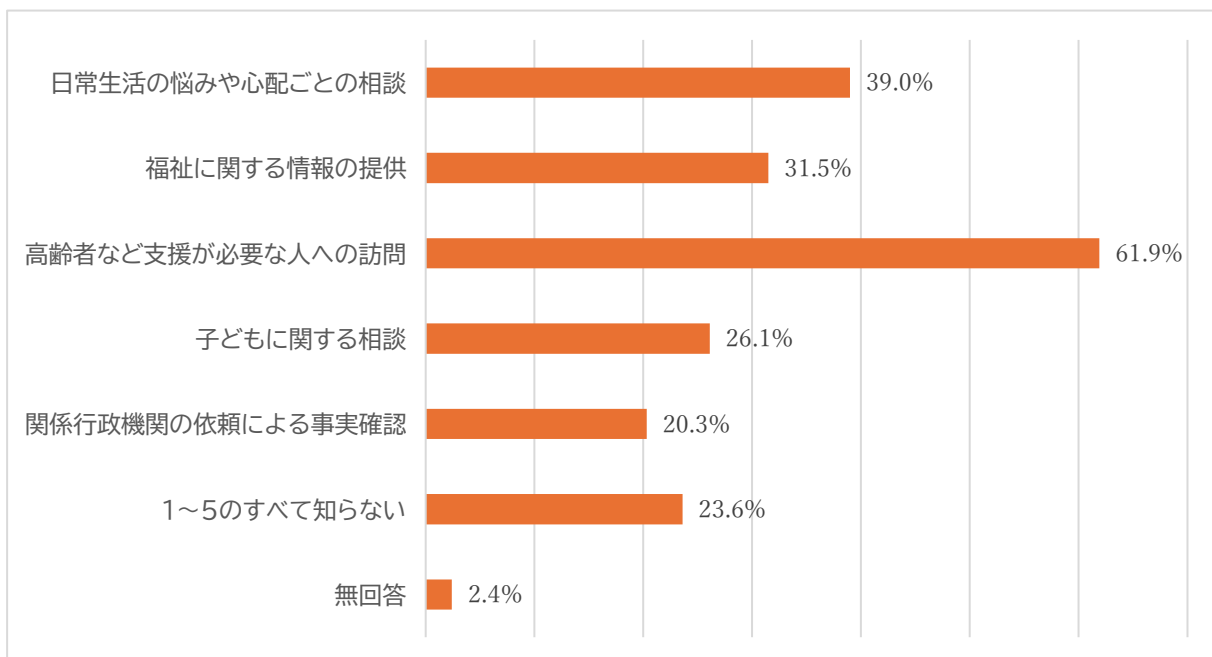
○ 知っている人と知らない人が同程度となっている。

問 25: 民生委員・児童委員の活動として、ご存知の内容を選んでください。

- \*\*回答数と率\*\*:

【MA】 N=924

- 日常生活の悩みや心配ごとの相談: 360 (39.0%) - 福祉に関する情報の提供: 291 (31.5%)  
 - 高齢者など支援が必要な人への訪問: 572 (61.9%) - 子どもに関する相談: 241 (26.1%)  
 - 関係行政機関の依頼による事実確認: 188 (20.3%) - 1~5 のすべて知らない: 218 (23.6%)

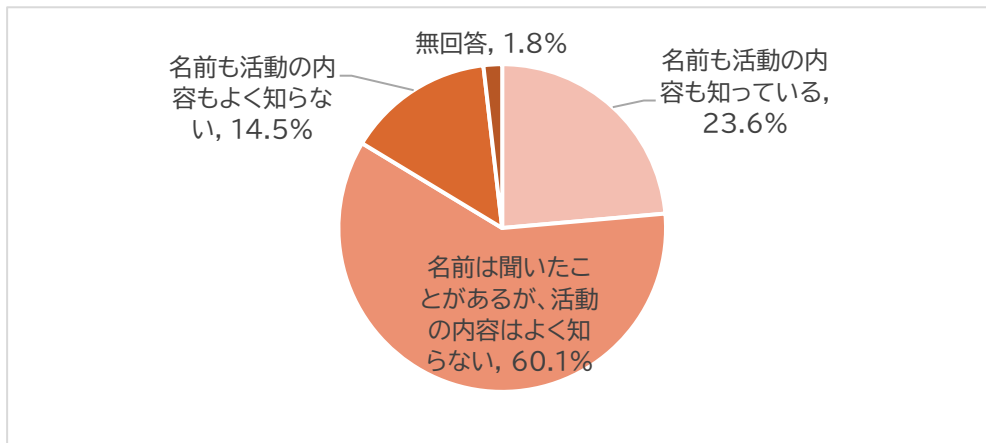


○ 高齢者支援への訪問活動が最も知られている。

問 26: 「山陽小野田市社会福祉協議会」をご存知ですか? 【SA】 N=924

- \*\*回答数と率\*\*:

- 名前も活動の内容も知っている: 218 (23.6%)
- 名前は聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない: 555 (60.1%)
- 名前も活動の内容もよく知らない: 134 (14.5%)
- 無回答: 17 (1.8%)



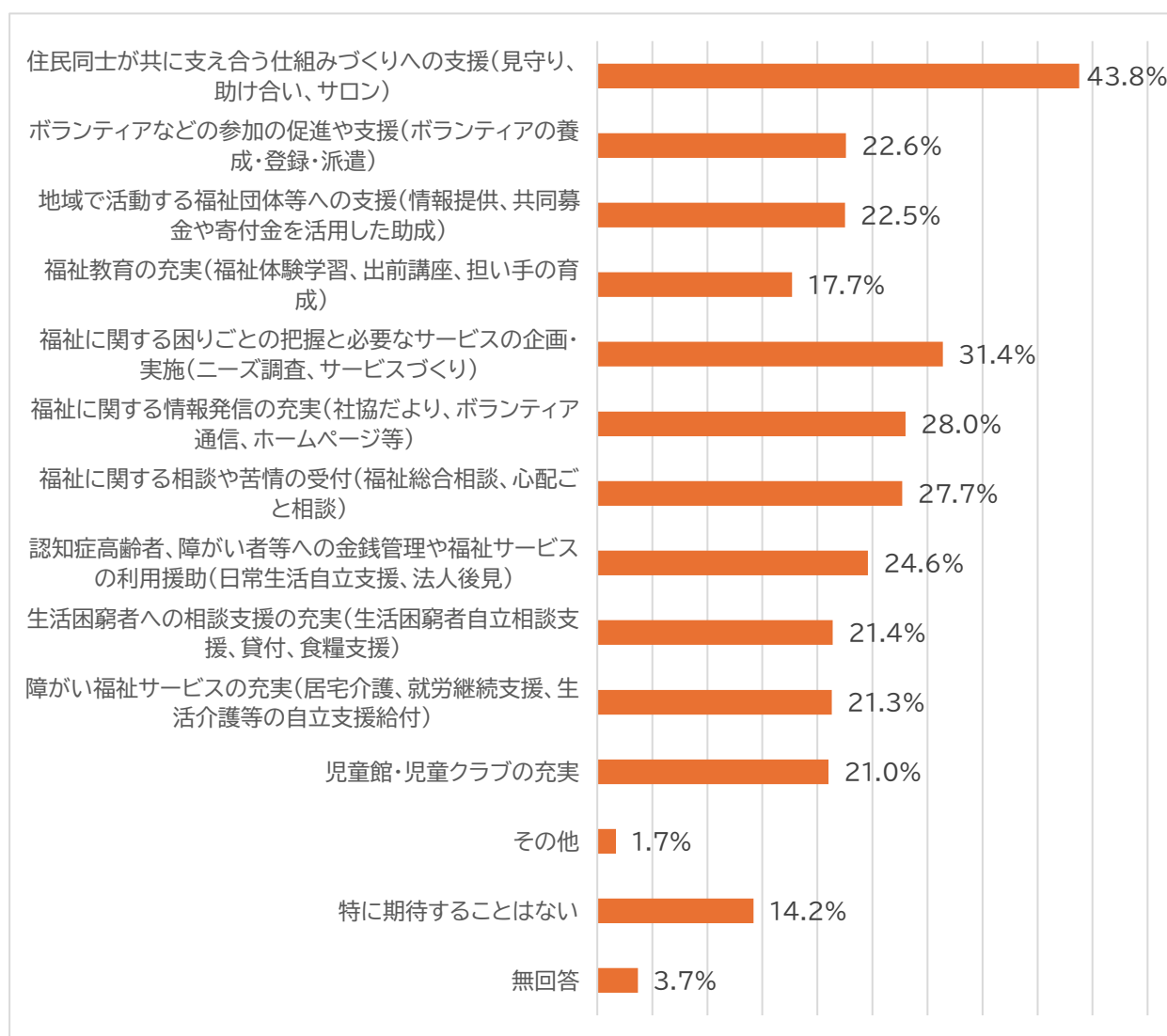
○ 名前は知っているが内容はよく知らない人が多い。

問 27: あなたが山陽小野田市社会福祉協議会に期待していることはなんですか？

- \*\*回答数と率\*\*:

【MA】 N=924

- 住民同士が共に支え合う仕組みづくりへの支援: 405 (43.8%)
- ボランティアなどの参加の促進や支援: 209 (22.6%)
- 地域で活動する福祉団体等への支援: 208 (22.5%) - 福祉教育の充実: 164 (17.7%)
- 福祉に関する困りごとの把握と必要なサービスの企画・実施: 290 (31.4%)
- 福祉に関する情報発信の充実: 259 (28.0%)
- 福祉に関する相談や苦情の受付: 256 (27.7%)
- 認知症高齢者、障がい者等への金銭管理や福祉サービスの利用援助: 227 (24.6%)
- 生活困窮者への相談支援の充実: 198 (21.4%) - 障がい福祉サービスの充実: 197 (21.3%)
- 児童館・児童クラブの充実: 194 (21.0%) - その他: 16 (1.7%)
- 特に期待することはない: 131 (14.2%)

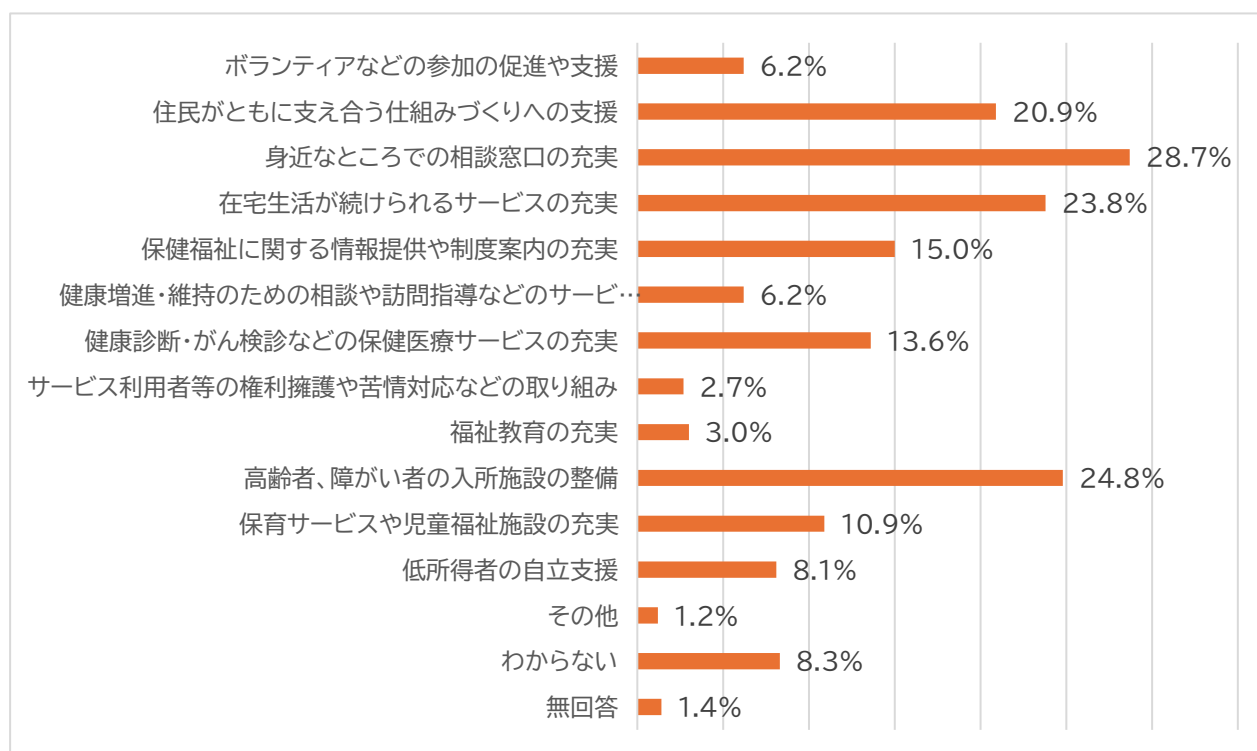


問 28: 今後、市の取り組む施策は、どれを優先して取り組むべきだと思いますか？

- \*\*回答数と率\*\*:

【MA】N=924

- ボランティアなどの参加の促進や支援: 57 (6.2%)
- 住民がともに支え合う仕組みづくりへの支援: 193 (20.9%)
- 身近なところでの相談窓口の充実: 265 (28.7%)
- 在宅生活が続けられるサービスの充実: 220 (23.8%)
- 保健福祉に関する情報提供や制度案内の充実: 139 (15.0%)
- 健康増進・維持のための相談や訪問指導などのサービスの充実: 57 (6.2%)
- 健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実: 126 (13.6%)
- サービス利用者等の権利擁護や苦情対応などの取り組み: 25 (2.7%)
- 福祉教育の充実: 28 (3.0%)
- 高齢者、障がい者の入所施設の整備: 229 (24.8%)
- 保育サービスや児童福祉施設の充実: 101 (10.9%)
- 低所得者の自立支援: 75 (8.1%)
- その他: 11 (1.2%)
- わからない: 77 (8.3%)

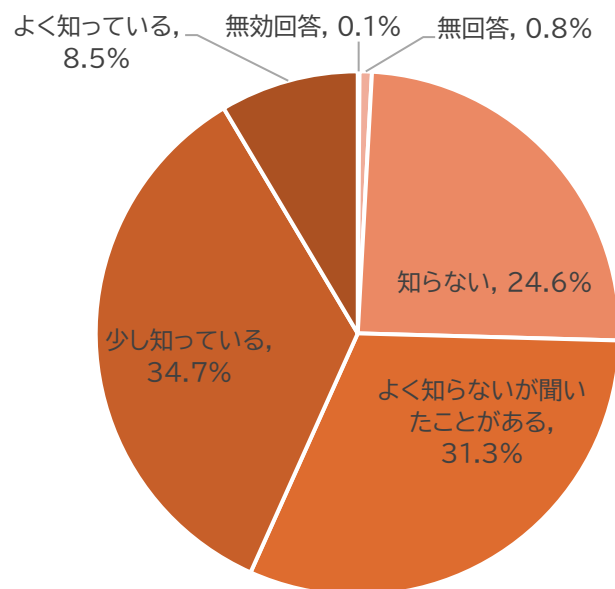


○ 身近なところでの相談窓口の充実が最も高く、高齢者障がい者の入所施設の整備が次いで高くなっている。

問 29：成年後見制度を知っていますか？ 【SA】N=924

- \*\*回答数と率\*\*:

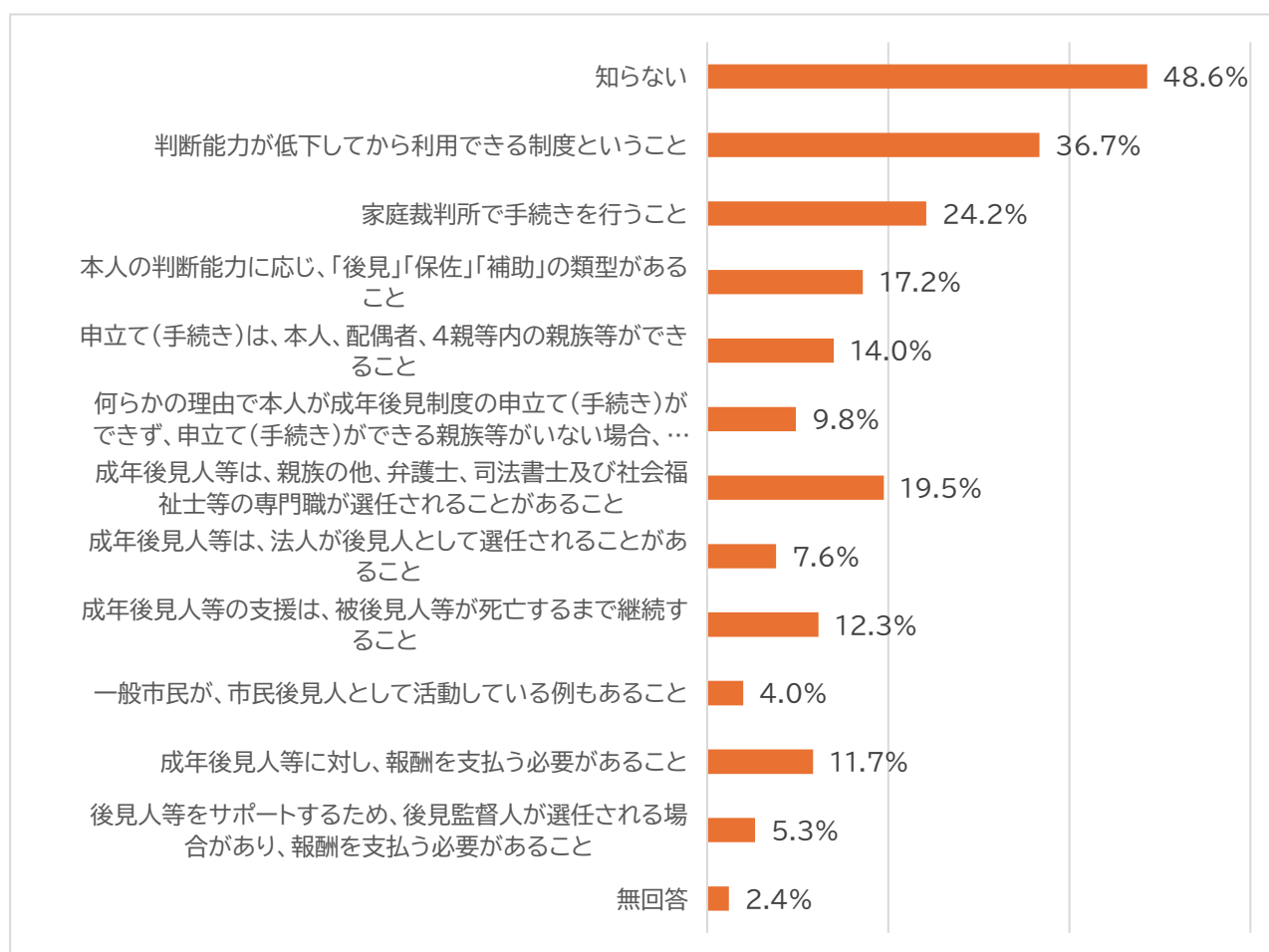
- よく知っている: 79 (8.5%) - 少し知っている: 321 (34.7%)
- よく知らないが聞いたことがある: 289 (31.3%)
- 知らない: 227 (24.6%)
- 知らない: 227 (24.6%)
- 無回答: 8 (0.8%)



○ 少し知っている人が最も多く、全体の認知度は低め。

問 30：法定後見制度について、ご存知の内容を選んでください。 【MA】 N=924

- \*\*回答数と率\*\*:
- 知らない: 449 (48.6%)
- 判断能力が低下してから利用できる制度ということ: 339 (36.7%)
- 家庭裁判所で手続きを行うこと: 224 (24.2%)
- 本人の判断能力に応じ、「後見」「保佐」「補助」の類型があること: 159 (17.2%)
- 申立て(手続き)は、本人、配偶者、4親等内の親族等ができること: 129 (14.0%)
- 市長が制度利用の申立て(手続き)ができること: 91 (9.8%)
- 成年後見人等は、専門職が選任されることがあること: 180 (19.5%)
- 法人が後見人として選任されることがあること: 70 (7.6%)
- 成年後見人等の支援は、被後見人等が死亡するまで継続すること: 114 (12.3%)
- 一般市民が、市民後見人として活動している例もあること: 37 (4.0%)
- 成年後見人等に対し、報酬を支払う必要があること: 108 (11.7%)
- 後見人等をサポートするため、後見監督人が選任される場合があり、報酬を支払う必要があること: 49 (5.3%)
- 無回答: 22 (2.4%)



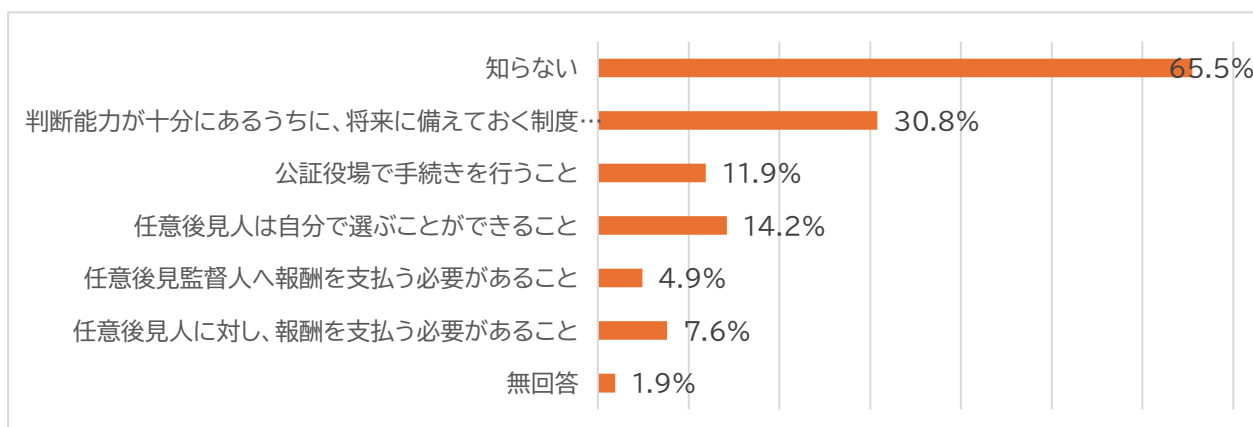
○ 半数近くが法定後見制度について知らない。

問 31：任意後見制度について、ご存知の内容を選んでください。 【MA】 N=924



- \*\*回答数と率\*\*:

- 知らない: 605 (65.5%)
- 判断能力が十分にあるうちに、将来に備えておく制度であること: 285 (30.8%)
- 公証役場で手続きを行うこと: 110 (11.9%)
- 任意後見人は自分で選ぶことができること: 131 (14.2%)
- 任意後見監督人へ報酬を支払う必要があること: 45 (4.9%)
- 任意後見人に対し、報酬を支払う必要があること: 70 (7.6%)
- 無回答: 18 (1.9%)



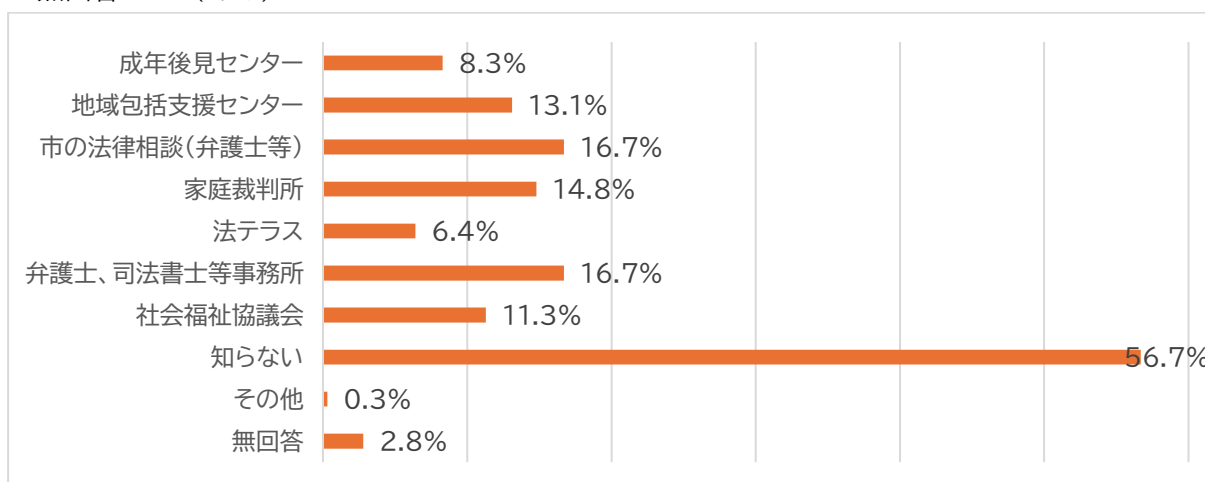
○ 任意後見制度について知らない人が圧倒的に多い。

問 32：成年後見制度についての相談窓口としてご存知の相談窓口を選んでください。

- \*\*回答数と率\*\*:

【MA】 N=924

- 成年後見センター: 77 (8.3%)
- 地域包括支援センター: 121 (13.1%)
- 市の法律相談(弁護士等): 154 (16.7%)
- 家庭裁判所: 137 (14.8%)
- 法テラス: 59 (6.4%)
- 弁護士、司法書士等事務所: 154 (16.7%)
- 社会福祉協議会: 104 (11.3%)
- 知らない: 524 (56.7%)
- その他: 3 (0.3%)
- 無回答: 26 (2.8%)



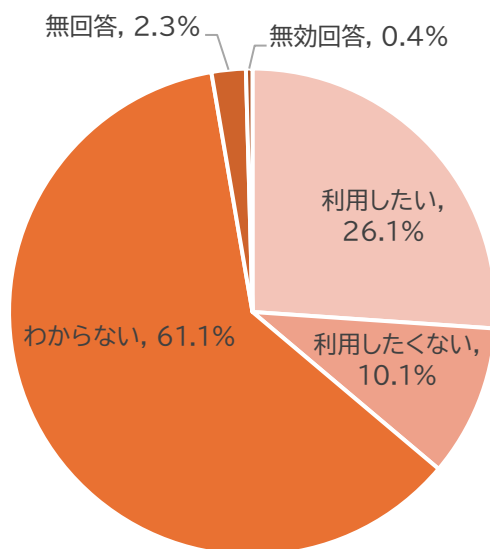
○ 多くの回答者が成年後見制度の相談窓口を知らない。

問 33：あなたは、必要となったときは、成年後見制度を利用したいと思いますか？

- \*\*回答数と率\*\*:

【SA】 N=924

- 利用したい: 241 (26.1%) - 利用したくない: 93 (10.1%)
- わからない: 565 (61.1%) - 無回答: 21 (2.3%)



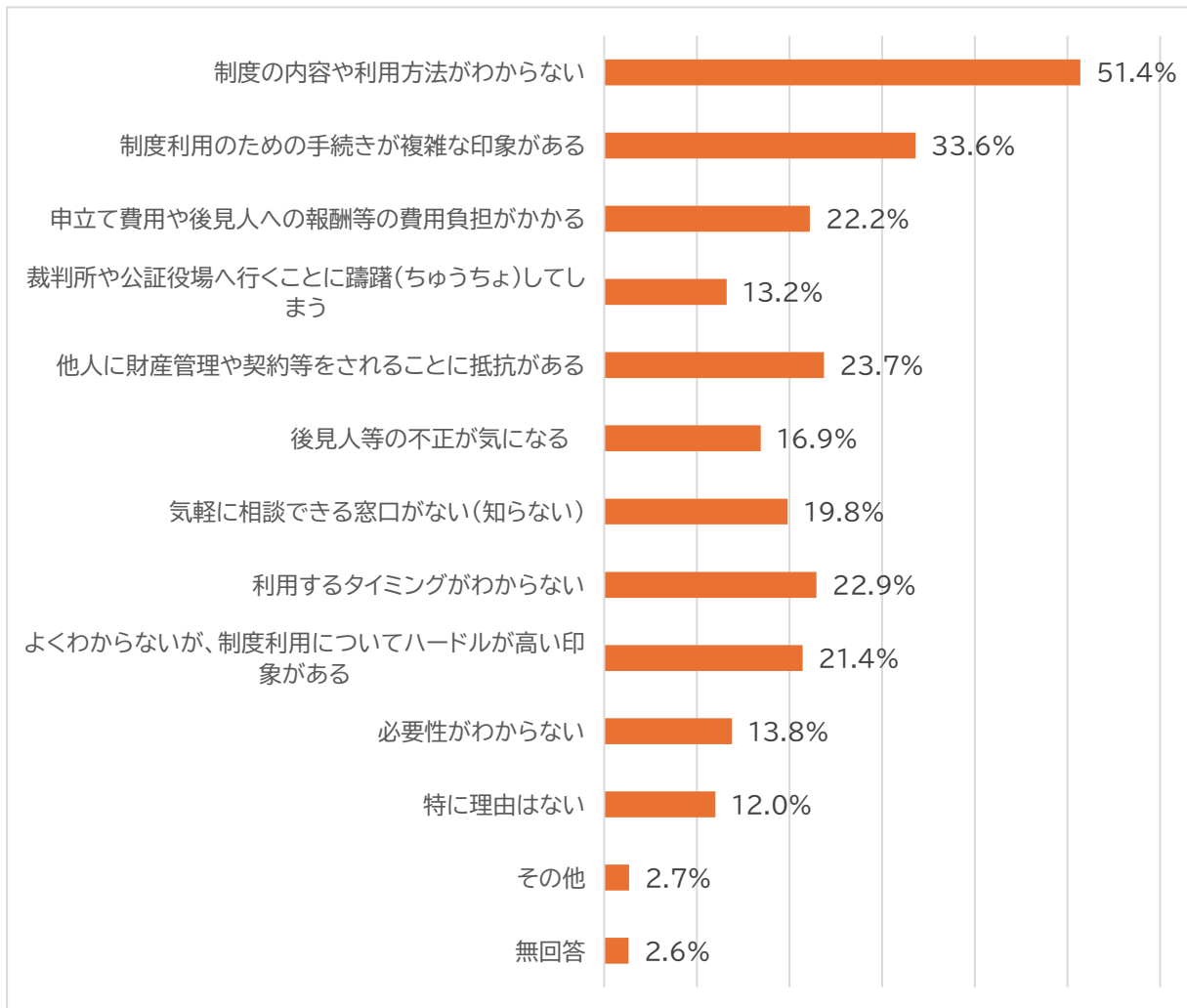
○ ほとんどの回答者が成年後見制度の利用についてわからないと答えている。

問 34: 問 33 で「2. 利用したくない」「3. わからない」と答えた方にお尋ねします。そ

## の理由はなんですか？ 【MA】 N=658

- \*\*回答数と率\*\*:

- 制度の内容や利用方法がわからない： 338 (51.4%)
- 制度利用のための手続きが複雑な印象がある： 221 (33.6%)
- 申立て費用や後見人への報酬等の費用負担がかかる： 146 (22.2%)
- 裁判所や公証役場へ行くことに躊躇(ちゅうちょ)してしまう： 87 (13.2%)
- 他人に財産管理や契約等をされることに抵抗がある： 156 (23.7%)
- 後見人等の不正が気になる： 111 (16.9%)
- 気軽に相談できる窓口がない(知らない)： 130 (19.8%)
- 利用するタイミングがわからない： 151 (22.9%)
- よくわからないが、制度利用についてハードルが高い印象がある： 141 (21.4%)
- 必要性がわからない： 91 (13.8%) - 特に理由はない： 79 (12.0%)
- その他： 18 (2.7%) - 無回答： 17 (2.6%)



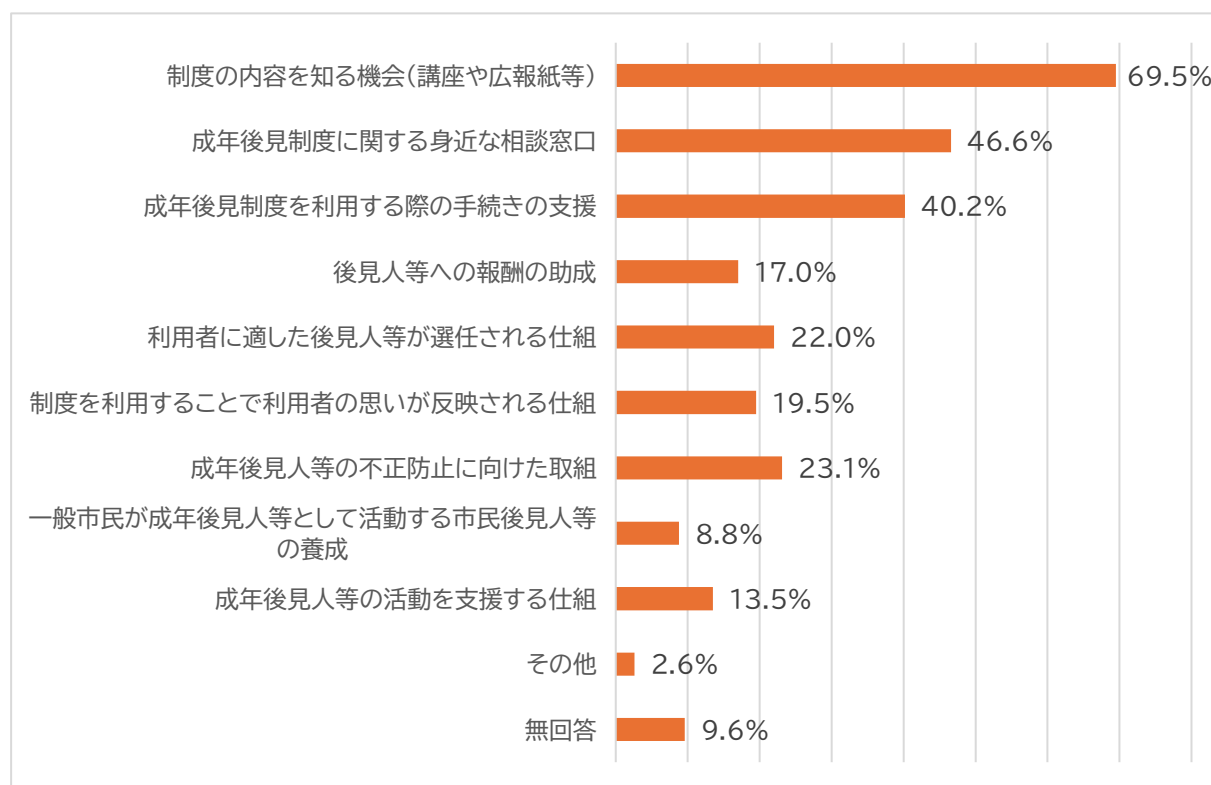
○ 制度の内容や利用方法がわからないことが主な理由。

問 35：成年後見制度の利用を促進するには、何が必要だと思いますか？

- \*\*回答数と率\*\*:

【MA】 N = 924

- 制度の内容を知る機会（講座や広報紙等）： 642（69.5%）
- 成年後見制度に関する身近な相談窓口： 431（46.6%）
- 成年後見制度を利用する際の手続きの支援： 371（40.2%）
- 後見人等への報酬の助成： 157（17.0%）
- 利用者に適した後見人等が選任される仕組： 203（22.0%）
- 制度を利用することで利用者の思いが反映される仕組： 180（19.5%）
- 成年後見人等の不正防止に向けた取組： 213（23.1%）
- 一般市民が成年後見人等として活動する市民後見人等の養成： 81（8.8%）
- 成年後見人等の活動を支援する仕組： 125（13.5%） - その他： 24（2.6%）
- 無回答： 89（9.6%）



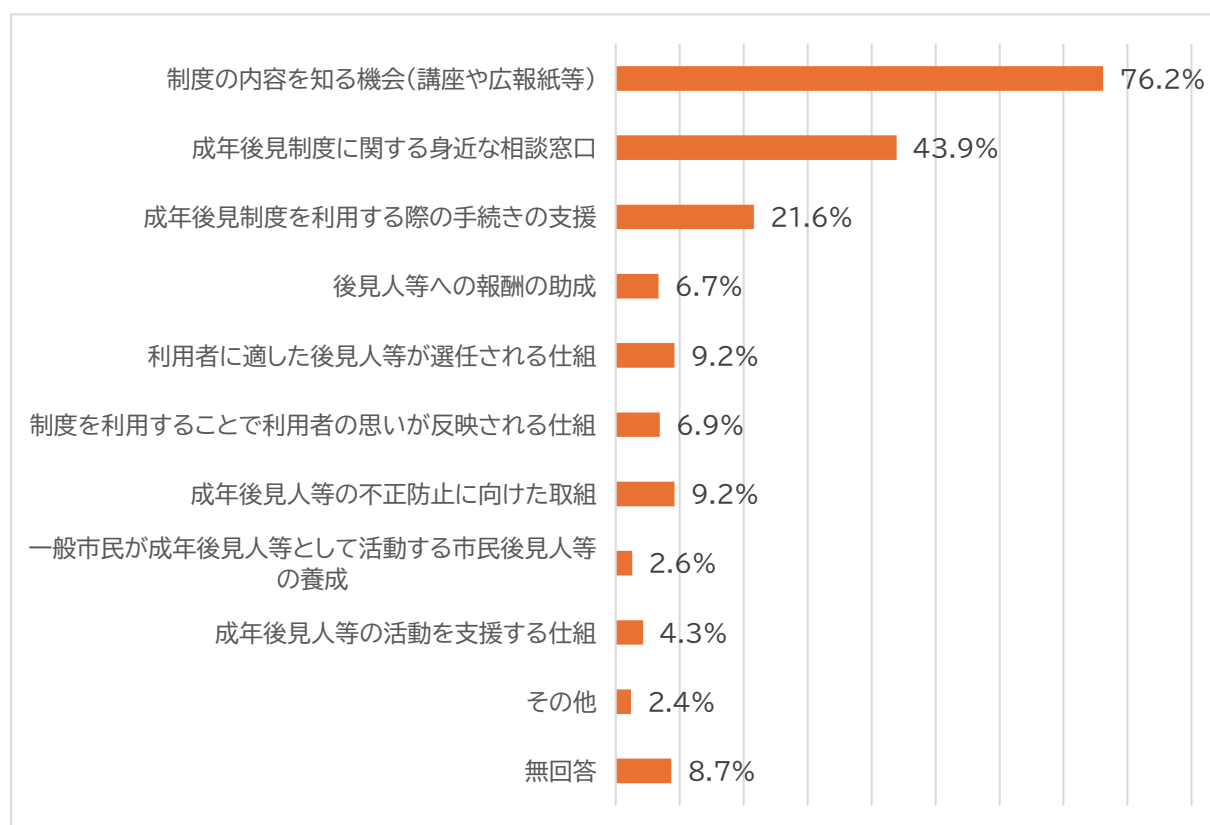
○ 制度の内容を知る機会の提供が最も必要。

問 36：問 35 で選択した内容で、どれを優先して取り組むべきだと思いますか？

- \*\*回答数と率\*\*:

【MA】 N=924

- 制度の内容を知る機会（講座や広報紙等）：704（76.2%）
- 成年後見制度に関する身近な相談窓口：406（43.9%）
- 成年後見制度を利用する際の手続きの支援：200（21.6%）
- 後見人等への報酬の助成：62（6.7%）
- 利用者に適した後見人等が選任される仕組：85（9.2%）
- 制度を利用することで利用者の思いが反映される仕組：64（6.9%）
- 成年後見人等の不正防止に向けた取組：85（9.2%）
- 一般市民が成年後見人等として活動する市民後見人等の養成：24（2.6%）
- 成年後見人等の活動を支援する仕組：40（4.3%）
- その他：22（2.4%）
- 無回答：80（8.7%）



○ 制度の内容を知る機会の提供が最優先事項。

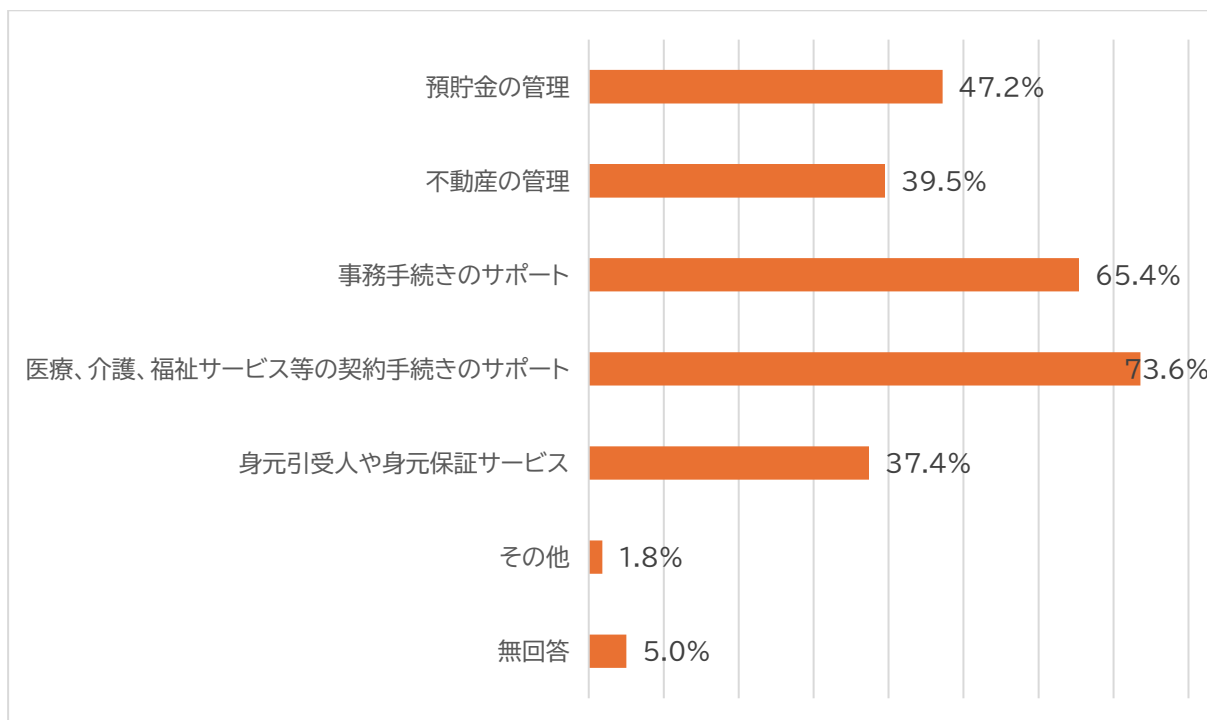
問 37：判断能力が低下した際、成年後見制度に限らず、どのような仕組みがあったら

よいと思いますか？

【MA】 N=924

- \*\*回答数と率\*\*:

- 預貯金の管理: 436 (47.2%) - 不動産の管理: 365 (39.5%)
- 事務手続きのサポート: 604 (65.4%)
- 医療、介護、福祉サービス等の契約手続きのサポート: 680 (73.6%)
- 身元引受人や身元保証サービス: 346 (37.4%) - その他: 17 (1.8%)
- 無回答: 46 (5.0%)



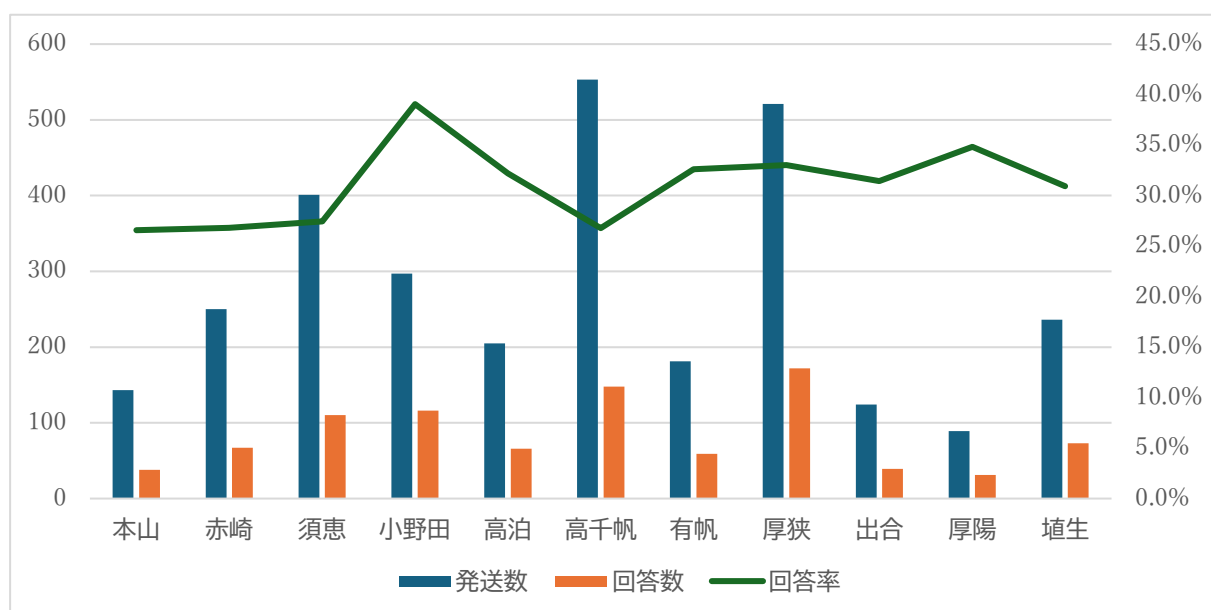
○ 医療、介護。福祉サービスの契約手続きのサポートを求める声が多い。

【クロス集計】

○校区ごとの回答数×校区ごとの発送数

問3 あなたのお住まいの校区はどちらですか？

校区	発送数	回答数	回答率
本山	143	38	26.6%
赤崎	250	67	26.8%
須恵	401	110	27.4%
小野田	297	116	39.1%
高泊	205	66	32.2%
高千帆	553	148	26.8%
有帆	181	59	32.6%
厚狭	521	172	33.0%
出合	124	39	31.5%
厚陽	89	31	34.8%
埴生	236	73	30.9%
	3,000		



○年齢ごとの回答数×年齢ごとの発送数

問2 あなたの年齢はおいくつですか？

年齢	回答数	発送数	回答率
10代	13	78	16.7%
20代	45	293	15.4%
30代	70	292	24.0%
40代	107	433	24.7%
50代	139	452	30.8%
60代	173	453	38.2%
70代	243	568	42.8%
80代以上	131	431	30.4%
無回答	3	—	—

○高齢者の回答率が非常に高い一方で、若年層の回答率が低い



○性別×自治会活動への参加状況

問1 あなたの性別を教えてください。

問9 自治会の活動にどのくらい参加していますか？

性別	よく参加している(週1回)	ある程度参加している(月1回)	あまり参加していない(年2回)	ほとんど参加していない	無回答	合計
男性	26 (7.7%)	104 (30.8%)	115 (34.0%)	84 (24.9%)	9 (2.7%)	338
女性	51 (8.8%)	156 (26.9%)	221 (38.2%)	140 (24.2%)	11 (1.9%)	579
その他	0 (0.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	4
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)	3

○年齢×自治会活動への参加状況

問2 あなたの年齢はおいくつですか？

問9 自治会の活動にどのくらい参加していますか？

年齢	よく参加している（週1回）	ある程度参加している（月1回）	あまり参加していない（年2回）	ほとんど参加していない	無回答	合計
10代	0（0.0%）	2（15.4%）	2（15.4%）	9（69.2%）	0（0.0%）	13
20代	0（0.0%）	5（11.1%）	12（26.7%）	28（62.2%）	0（0.0%）	45
30代	1（1.4%）	15（21.4%）	24（34.3%）	28（40.0%）	2（2.9%）	70
40代	2（1.9%）	25（23.4%）	50（46.7%）	26（24.3%）	4（3.7%）	107
50代	3（2.2%）	46（33.1%）	56（40.3%）	32（23.0%）	2（1.4%）	139
60代	12（6.9%）	56（32.4%）	75（43.4%）	26（15.0%）	4（2.3%）	173
70代	40（16.5%）	85（35.0%）	80（32.9%）	36（14.8%）	2（0.8%）	243
80代以上	19（14.5%）	28（21.4%）	38（29.0%）	40（30.5%）	6（4.6%）	131
無回答	0（0.0%）	0（0.0%）	0（0.0%）	3（100%）	0（0.0%）	3

- 10代～30代までは「ほとんど参加していない」が最も多く、参加率が低い。
- 40代と50代では「あまり参加していない」と「ほとんど参加していない」が多く、参加率が低い。
- 60代では「ある程度参加している」が多く、参加率が比較的高い。
- 70代では「よく参加している」と「ある程度参加している」が多く、高齢者の参加率が比較的高い。
- 80代以上では「ほとんど参加していない」が最も多く、参加率が低い。

○各年齢層の自治会活動への参加状況から、特に若年層と高齢層の参加促進が課題である。

○年齢×優先課題

問2 あなたの年齢はおいくつですか？

問15 お住まいの地域で優先して取り組むべき課題は何だと思いますか？

年齢	緊急事態の対応	防犯や防災	高齢者社会参加	高齢者世帯支援	ルールの徹底	青少年健全育成	障がい者生活支援	生活習慣病予防	子育て支援	障がい者社会参加	ひとり親支援	虐待対策	認知症対策	特にない	その他	無回答	合計
10代	0	6	0	3	0	0	0	1	1	1	2	0	3	1	2	1	21
20代	13	16	4	4	1	3	4	1	14	2	6	2	1	3	4	0	78
30代	17	25	1	5	2	5	4	2	29	1	7	1	3	6	7	1	116
40代	29	29	5	17	8	10	7	1	28	4	7	1	6	11	14	2	179
50代	53	50	15	36	10	12	9	4	10	2	5	2	12	17	6	1	244
60代	68	81	25	46	17	3	11	6	10	5	5	1	13	8	4	2	305
70代	114	96	30	55	29	8	9	6	7	3	7	1	29	25	8	3	430
80代以上	55	41	23	41	7	4	4	2	0	1	0	0	14	23	0	5	220
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3

1. 10代:
  - 優先課題は「防犯や防災」や「認知症対策」、「虐待対策」などで、全体数が少ない(21件)。
2. 20代:
  - 「子育て支援」が14件多く、次いで「防犯・防災」が16件。
3. 30代:
  - 最も多いのは「子育て支援」の29件、続いて「防犯・防災」25件。
4. 40代:
  - 「緊急事態の対応」と「防犯・防災」各29件が多く、範囲が多岐にわたる(合計179件)。
5. 50代:
  - 「緊急事態の対応」53件、「防犯・防災」50件が特に多い(合計244件)。
6. 60代:
  - 「防犯・防災」が81件、次に「緊急事態の対応」68件が多い(合計305件)。
7. 70代:
  - 「緊急事態の対応」114件、「防犯・防災」96件。また、「高齢者支援」や「認知症対策」なども多数(合計430件)。
8. 80代以上:
  - 「緊急事態の対応」55件、「防犯・防災」41件、高齢者向けの課題も顕著(合計220件)。

○年齢×不安

問2 あなたの年齢はおいくつですか？

問12 あなたは、日々の生活においてどのような悩みや不安を感じていますか？

年齢	自分や家族の健康	自分や家族の老後	生きがい	子育てや教育	介護	経済的な問題	仕事	人間関係	生活上の困りごと	地域の治安	災害時の備え	人権問題	その他	悩みや不安はない	無回答	合計
10代	2	2	2	0	0	1	3	2	2	0	1	0	0	5	0	20
20代	8	7	4	7	0	15	7	6	1	0	9	0	2	8	0	74
30代	22	14	0	29	1	22	8	2	2	2	7	0	4	6	2	121
40代	34	41	2	43	4	28	11	2	0	1	9	0	4	6	0	185
50代	46	66	5	7	18	33	13	7	2	7	12	0	3	19	1	239
60代	94	100	6	3	23	26	8	6	1	9	20	0	3	6	1	306
70代	131	118	9	0	23	36	1	6	7	12	28	1	3	25	2	402
80代以上	60	42	4	1	27	7	0	4	24	9	15	1	4	17	4	219
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3

1. 10代:
  - 主な不安は「仕事に関すること」3件。
  - 「悩みや不安はない」5件と最も高い。
2. 20代:
  - 最多が「経済的な問題」15件。
  - 「子育てや教育」7件、「健康に関すること」8件も多い。
3. 30代:
  - 最多が「子育てや教育」29件。
  - 「健康に関すること」22件、「経済的な問題」22件。
4. 40代:
  - 最多が「子育てや教育」43件、「老後に関すること」41件。
  - 「健康に関すること」34件、「経済的な問題」28件。
5. 50代:
  - 最多が「老後に関すること」66件、「健康に関すること」46件。
  - 「介護に関すること」18件、「経済的な問題」33件。
6. 60代:
  - 最多が「老後に関すること」100件、「健康に関すること」94件。
  - 「介護に関すること」23件、災害準備への関心も高い。
7. 70代:
  - 最多が「健康に関すること」131件、「老後に関すること」118件。
  - 災害準備28件、「悩みや不安はない」25件と多い。
8. 80代以上:
  - 最多が「健康に関すること」60件、「老後に関すること」42件。
  - 「生活上の困りごと」24件。

## 【その他の回答の内容】

○問7 あなたにとって「地域」とは、こういった範囲のことだと思いますか？

- 厚狭駅周辺
- 何となくここらあたり。場合により広くなったり狭くなったり
- 老人会
- 区切られた土地
- 校区全体
- RMO の範囲
- 山口県

○問10 問9で「よく参加している」「ある程度参加している」と答えた方にお尋ねします。自治会の活動に参加している理由はなんですか？

- 参加したくてしているわけではない、本当はしたくはない
- 百歳体操をしている
- 土地柄を理解するのに役立つから
- 高齢化していて、参加する人が少ない為
- 次世代と繋がりたい
- 決められた事には参加している
- 人がいないから仕方なく協力している
- 自治会の活動は必ず参加するが週1回もない

○問11 問9で「あまり参加していない」「ほとんどまたはまったく参加していない」と答えた方にお尋ねします。自治会の活動に参加していない理由はなんですか？

- 昔の様に知人が少ない
- 集会、清掃活動には行っていますが、他に参加するような行事はありません
- 加入していないから
- 近所に住む者の義務々思うけど、なかなかむづかしい
- 草刈りくらいしか自治会行事が無いから
- はずかしいから
- 活動、行事があまり無いから
- 足が悪く、歩行困難なため
- 管理組合で自治会に入っていない
- 転入したばかりだから
- 障がいがあり、子供会にも入っていなかった為
- 家事や庭剪定、草刈り等で時間をつかう為
- 肝臓病中（自宅）

- 仕事の休みが不定期で参加しにくい
- 体が不自由だから人の手を取るから
- 介護施設で暮らしているため
- 同年代の話し相手が少ない
- 自分がやってみたい内容のものが無い

○問 12 あなたは、日々の生活においてどのような悩みや不安を感じていますか？

- 野良猫や野良犬などの糞尿被害
- どこが良い病院なのか
- 自分が居なくなった時、子供は成人しているが、障害があるため不安
- 家や土地の処分
- 地域の人との希薄な関係性、子供の遊び場の減少
- 免許返納後の交通手段(買い物・病院・など)
- 毛虫やムカデ等が多すぎて困っている。殺虫剤などをまいてほしい。公園なさすぎて子供があそぶ所がない
- コンビニのゴミが飛んでくる、敷地内に不法侵入してくる道路工事業者がいる
- これからの日本
- 市営住宅に居住していて、その家賃が高額であること。全体をもっと安価にして欲しい。民間の賃貸より高額。
- 不妊
- パートナーが出来ない
- 厚狭地区の水害、洪水

○問 13 悩みや不安について、誰に、またはどこに相談していますか？

- どうせ何もかわらないから相談するだけむだ。めんどくさい。
- しかし、致し方ない。
- 警察(110 番)
- 本当に信頼できる人がいない
- ネットで検索する

○問 15 お住まいの地域で優先して取り組むべき課題は何だと思われますか？

- 校区内に買い物できる場所
- まちおこし
- こどもを安心して遊ばせる場所づくり
- 企業誘致
- 交通インフラと医療体制
- 全てに関わることもかもしれませんが、「環境整備」です。誰もが住み良い街にするためには、小さな道路の段差や公園の使い勝手など、細かなところの環境整備が



大切だと思います。

- 児童クラブを働いていない親でも入れるようにして欲しいのと、公園の遊具が全然なさすぎるのでいつも隣町で遊ぶ。作って欲しい。
- 人を誘致できるような観光事業の整備。
- 道路の整備や公共交通機関の充実、スーパーなど買い物場所の確保
- 車を出さなくても買い物のできる施設があると良い
- 社会的弱者の保護を拡張するのではなく、子供を含めた若い世代の成長機会を与えて欲しい、共助の精神向上。
- 地域というのが何かが不明で、課題に取り組む主体がわからないことから選べない
- 新規転入者や若年層が地域の活動に参加しやすい環境づくり 年代による人との繋がり方や情報得る方法の違いへの対応
- 中学生の部活動の地域移行、選択肢の増加、公設塾等の学校以外の学びの場の充実
- 地域を盛り上げる行事
- 側溝のフタをつけるべき。車がせまい道をすれちがう時に落ちそうで不安。
- Uターン、Iターン、外国人などの受け入れ
- 高齢者の生活支援を良くしてほしい。
- 中学校の部活動の継続
- 雇用(特に若者の就職)
- 独身に対して、男女関係なく何か施しを
- 学校での「いじめ」問題
- JR 無人駅の市へ管理渡し
- 不登校、ひきこもり児者に対する社会参加、復帰支援
- 野良猫、野鳥、トンビ・カラスの管理
- 子育て世帯にばかり支援があるのは理解できない
- 後継者がいない

○問 16 隣近所に介護や子育てで困っている家庭があった場合、どのような手助けができますか？

- 相談所の紹介
- 自分に出来る事はなんでも
- 出来る事はあるが、何れにも責任を伴う事であり無理
- 本当に困っている人がいればどんな手助けでもできる。ただ本当に困っている人は自ら助けを求めることはない

○問 17 住民同士が助け合い、支え合うためには何が必要だと思いますか？

- まず自分が健康生活にゆとりがあること

- 互いの適度な距離。関わられるとわずらわしい
- ある程度の信頼関係と人間性
- お互いを知ること、隣人愛
- 謝礼金や地域で利用できるクーポンがもらえる
- 市が手助けしてほしいです。
- 気を遣わずに、頼みやすい環境
- 簡単な一つの目標に向かうこと

○問 19 あなたは、自治会活動以外で、今までにどのような地域活動に参加したことがありますか？

- 業界団体による地域サービスへの参加
- スマホ教室のアシスタント
- 消防団
- 仕事や家事があるため
- お祭り、大名行列
- 子育て支援
- 母子推進員
- 防災訓練

○問 20 問 19 で「1～11」の活動に参加したことがあると答えた方にお尋ねします。問 19 の活動をされた理由はなんですか？

- PTA・子供会の役員は、当番で必ず、やらないといけないものだから
- ボランティアは自分の自己啓発、視野を広めるのも目的
- 抽選

○問 22 利用者が最適なサービスを安心して利用するためには、市では今後どのようなことに取り組む必要があると思いますか？

- 行政サービスのワンストップ相談窓口
- どんなサービスがあるのか、また受けるために何処に聞きに行ったら良いのかが分かりやすいと嬉しいと思います
- 資金の補助
- 質は落とさずサービスの選択肢を増やす。
- その時に最適なサービスがあること
- 福祉サービスを利用したいと言いやすい環境を作ること
- 分かりやすい形での情報提供(かかるお金の明確化や対象者への周知方法の工夫)
- 一番身近にいる民生委員が相手を傷付けない様色々な制度を教えてあげる

○問 23 福祉サービスに関する情報はどこから入手していますか？

- 自分の職場
- 回覧
- 広報以外の別の施策を。中年、若者、小さい人の為に。広報等は高齢者しか基本見ない為

○問 27 あなたが山陽小野田市社会福祉協議会に期待していることはなんですか？

- 就労継続支援の事業所を増やしてほしい。IT系などが無い。IT系の事業所を作してほしい。あとクリエイティブ系も。
- 基本的な支援はすでに頂いてる
- 1人くらしの老人の家族に対して情報提供してほしい
- 活動内容もよく知らない為、何を期待するかわからない
- 社協が身近な組織に思えない為、期待するべきものが良く分からない
- 認知症の手助けを

○問 28 今後、市の取り組む施策は、どれを優先して取り組むべきだと思いますか？

- 市は生活保護者の子供が将来、生活保護を受給する負の連鎖を止めなくては
- サービスは必要最小限として減税する。そうすれば福祉を利用したい人が減税された分を自己で負担して自由に受けたい福祉を利用できるはず。
- 美祢市の様な高齢者の100円バス利用券を配れば活動範囲が広がり結果、病人が減る、医療費削減にもなる
- 交通インフラと医療体制
- 児童クラブ対策(働いていなくても入らせたい)、公園の遊具を増やして欲しい
- 公園なさすぎ、空地にもう少し増やすべき。
- 核家族・共働き家庭への支援が必要だと思う
- ボランティアに頼らず商売として成り立たせる
- 中間層への子育て支援が中長期に必要。いずれにせよ、10年、15年先の為に中間層に支援しなければ担い手はいなくなる。
- 公園の遊具のたてかえ
- ボランティアというより、対価を出してあげて欲しい。ボランティアを簡単に使わないでほしい。

○問 32 成年後見制度についての相談窓口として、ご存知の相談窓口を選んでください。

- 知財相続センター

○問 34 問 33 で「2.利用したくない」「3.わからない」と答えた方にお尋ねします。その理由はなんですか？

- まだ必要に迫られてないのでなんとも言えない。
- 意味が分かってないから
- 一度決まってしまうと解除が困難
- よく分からない
- 適時に判断する
- 息子にまかせたいと思っている
- 後見人になるや範囲によっては自由がきかない。その人のためにならない人もいたりするから。
- 家族、子供達がいるので必要性を感じてない
- 制度についてよく知らないから
- 相続が争族になるといわれているが毎年、エンディングノートを残している
- まだ実感がわからないから。

○問 35 成年後見制度の利用を促進するには、何が必要だと思いますか？

- 知らない事なので答えられない。
- 営利目的の法人などの食い物にされないようにする仕組み
- どのような物かの周知徹底
- 理解できてないから分からない
- 手続きの簡易化
- 利用促進するのが良いのか判断しがたい
- 成年後見人をつけることを子供達が知った時どう感じるか。
- 成年後見制度の説明をわかりやすく周知徹底してほしい
- プライバシーが絶対に守られる仕組み。もれた時の対応等

○問 36 問 35 で選択した内容で、どれを優先して取り組むべきだと思いますか？

- よくわからない
- 利用促進するのが良いのか判断しがたい
- 家族の意見が反映できる仕組み作り

○問 37 判断能力が低下した際、成年後見制度に限らず、どのような仕組みがあったらよいと思いますか？

- 理解してないから分からない
- 身内へのサポート
- マイナンバーカードに情報を一括して登録する機能。本人の意思も一緒に

○問 38 成年後見制度について、何かご意見がございましたらご記入ください。

- 最近成年後見人の犯罪を見聞きすることがあります。不信感がネックになっていると思います。

- 息子が後を継いでくれると分かっているけどこの制度は必要なのでしょうか？
- どのような時に利用するか、利用のしかた手続等周知が必要
- まだ判断力がある時から自発的に制度を活用していけるようなサポートや情報発信が必要
- 知る機会を身近に提供してほしい
- 高齢化が進むと成年後見制度の必要性が増してくるので、内容や方法をわかりやすく提示して広めることが必要
- 具体的な問題点や実際に起った事例なども提示して内容を明確に示してほしい
- 色々な手続きがスムーズに行われると嬉しいです
- 市で年に何回か講演があると嬉しいです。理解できる。
- 広報などで毎月少しずつでも内容を紹介してほしい
- 本当に信頼出来る人をよく調べて制度に関わってほしい
- 細やかな配慮ができる人を選んでほしい
- 一度決めると変えられないのはおかしい。不正が多い
- 今後は制度の理解に努めたい
- 家庭裁判所で話を聞いたが、手続きが難しく、理解が難しい
- 山陽小野田市に成年後見センターがある事を知らなかった
- 制度、内容、手続き等の情報提供をお願いしたい
- 成年後見人の変更も認め、次の後見人を選ぶ制度が必要
- 相談窓口が何でも話せる場所であり、協力者であってほしい
- 知識が無いので知る機会が必要
- 自分が理解していないので学びたい
- 子供がいないので、そろそろ本気になる必要を感じました
- 今の時代長生きする人が増え、動けなくなっても生きて行かねばならない時には制度が役立つ
- 動ける内に行動する必要がある
- 後見制度が必要になる人が増えるので認識を広げてほしい
- 信頼できる人であって欲しい
- 金融機関も成年後見制度についてよく勉強してほしい
- 利用法がよくわからない
- 市広報紙や公式 LINE などマンガチックにシリーズ化して教えてほしい
- 健康は時に生前整理をする為の啓蒙活動が重要
- どのような制度か知らないのでアンケート記入に困った
- 運営チェック体制の強化が必要
- 市民が安心して年を取ることができるようしてほしい

## ○自由記入欄

- Web フォームによる回答方式は非常に良かった。
- 福祉関係者も弁護士への相談を推奨することが望まれる。
- 生活保護の不正受給を防止するため、担当民生委員の監督システムの整備が必要。
- 回答者の意見が市政に反映され、今後の発展に期待しています。
- 山陽小野田市立大学周辺にファミレスやカラオケが欲しい。
- 介護施設で家族と施設のサービスのすり合わせが必要。
- 高齢者が増える中、家族や横の繋がり強化が重要。
- 個々人の意識を高める取り組みも重要。
- 高齢ドライバーの交通インフラ整備が必要。
- ゴルフ場の利用を促進し、ジュニアや障害者の育成を推進。
- アンケートの設問が多すぎて後半に関心が薄れた。
- 買い物や病院が遠い埴生地区の再開発が必要。
- 発達障害の子供への支援を充実させ、学生が高齢者を支援する仕組みが欲しい。
- 質問項目が多岐に渡り、何を分析したいのかわかりづらい。
- 厚狭は住みやすいが、野焼きや駅のバリアフリーなど改善が必要。
- アンケートを通じて知識が増えた。
- 交通手段の充実が欲しい。
- 民生委員との交流や活動内容が不明。
- 子供が遊べる公園や娯楽施設が欲しい。
- 質問用紙と回答用紙がバラバラで書き辛かった。
- 高齢者が多く、不便な地域に住むことについて課題が多い。
- 地域の集まりが少ないため、交流の場が欲しい。
- 障害者や療養者への幅広いサポートが必要。
- 退職後に生きがいを感じられる場所が欲しい。
- 市役所の窓口対応が悪いと感じることが多い。
- 自治会による活動が異なるため、活動の統一性が欲しい。
- 福祉に関するフローチャートが欲しい。
- 回転寿司やカラオケが欲しい。
- 運転免許証返納後の交通手段が心配。
- 市職員の対応に不満が多い。
- 民生委員が動かないことが問題。更新時のしっかりとした調査が必要。
- 在宅支援の情報提供や自治会活動の少なさが高齢者にとって助かる。
- ゴミの分別について詳しい情報が欲しい。
- 子供食堂だけでなく、老人ひとり暮らしの食堂も欲しい。
- 高齢者の交通費の軽減が必要。
- デマンド型集合タクシーの運行を拡充してほしい。

- 孫や子供が遊べる場所が欲しい。
- 市役所や社会福祉協議会の職員の対応が問題。
- 地域で困っている人への対応が不十分。
- 社会福祉協議会のホームページの更新を徹底して欲しい。
- 任意後見制度についての相談が必要。
- 社会のために活動したいが身体が思うように動かない。
- アンケートの成果を市民に示して欲しい。
- 近くの真剣な高齢者向け施設が欲しい。
- 庭や畑を荒らす野良猫対策が欲しい。
- 民生委員の活動をしっかり見直して欲しい。
- 社協のホームページを最新に更新して欲しい。
- よくわからない制度について簡単に説明してほしい。
- 相談窓口の対応が行き届いていないことが多い。
- マイナンバーで簡単に手続きできるようにして欲しい。
- バス停の充実を願う。
- 市役所でのたらい回しが多い。
- 子育てに関する支援を充実させて欲しい。
- 短期的にも利用できる交通手段が欲しい。
- 高齢者の移動手段が少ないのを改善して欲しい。
- 地域の活動や参加が楽しいと感じるようなイベントが欲しい。
- 放課後デイサービスの受け入れ枠を拡充して欲しい。
- 支援が必要な人への対応をしっかりと行って欲しい。
- 隣近所での手助けをしたいが、過去の経験で困難を感じる。
- 地域住民の声を吸い上げる仕組みが欲しい。
- 福祉に関する取り組みをもっと簡単に知りたい。
- 高齢者向けの生活支援を強化して欲しい。
- 船木の人にはバスが多く便利だが、有帆は違う。
- 道路工事が早く終わるようにしてほしい。
- 高齢者向けの施設が欲しい。
- 隣近所の付き合いが減少している
- 任意後見制度についての説明を強化してほしい。
- 福祉に関する求祖井を避けていると感じる所も多い。